



三菱電機パッケージエアコン

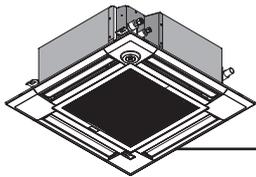
室内ユニット **冷媒R32対応**

形名

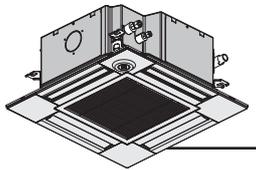
PL-ZRP・HA3 PM-(H)RP・FA20
PL-HRP・HA3 PC-RP・KA(L)20
PL-ERP・HA3 PC-RP・HA20
PL-RP・GA6

取扱説明書

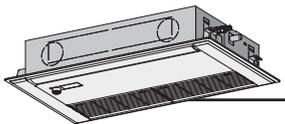
Mr. SLIM



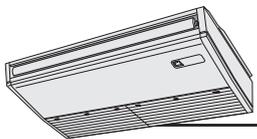
PL-ZRP・HA3
PL-HRP・HA3
PL-ERP・HA3



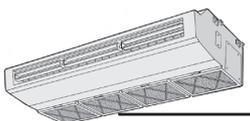
PL-RP・GA6



PM-(H)RP・FA20



PC-RP・KA(L)20



PC-RP・HA20

●お使いになる前に

安全のために必ずお守りください	2
各部のなまえ	4

●運転のしかた

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた	8
タイマー、スケジュール運転のしかた	15
自動運転、換気運転のしかた	16
ハイパワー運転、静音自動モード設定のしかた	17
ワイヤレスリモコンをご使用になる場合	18
応急運転のしかた	18
人感ムーブアイ設定のしかた	19
もっと知りたいとき	22
上手な使い方	26

●お手入れのしかた・困ったときに

「故障かな?」と思ったら	27
お手入れのしかた	29
長期間ご使用にならないとき	31
移設・工事について	32
保証とアフターサービス	33
ご相談窓口	35
仕様	37

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は「据付工事説明書」と共に大切に保管してください。
- 保証書は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- お使いになる方が代わる場合には必ず本書と据付工事説明書及び保証書をお渡しください。
- お客様ご自身では据付け・移設をしないでください。(安全や機能の確保ができません)
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

No servicing is available outside of Japan.

● お使いになる前に 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

■“図記号”の意味は次のとおりです。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷又は家屋・家財などの損害に結びつくもの。

 禁止	 アース線接続
 指示を守る	 水濡れ禁止
 濡れ手禁止	

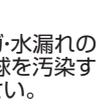
安全のために必ずお守りください

警告

長時間直接お肌に風をあてない
健康を損なう原因になります。




お客様ご自身で分解・改造・据付け・修理・移設・廃棄はしない
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に出すと地球を汚染することになります。お買上げの販売店にご相談ください。




分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

エアコン及びリモコンを水洗いしない
ユニット及びリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電や発火の原因になります。




水濡れ禁止

万一冷媒が漏れても限界濃度を超えないよう換気対策を行う
冷媒が漏れると、酸欠事故の原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。



換気

お子様など、補助が必要な方が単独でエアコンを使用しない
ケガなどの原因になります。適切な方の管理のもとでご使用ください。



濡れた手で電源スイッチを操作しない
感電の原因になります。




吸込口・吹出口に指や棒などを入れない
特にお子様にご注意を!内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



異常時(異臭・異音・振動大など)は運転を停止して、電源スイッチを切る
異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買上げの販売店にご連絡ください。



電源を切る

清掃及びメンテナンス作業時には運転を止め、電源スイッチを切る
ファン及びファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。




電源を切る

パネルやガードをとりはずさない
機器の回転物・高温部・高圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。点検時以外は絶対にはずさないでください。



分解禁止

注意

粉が浮遊する作業場などでは使用しない
粉じんなどにより機器の故障や発煙に至ることがあります。又は健康を損なう原因にもなります。




直接風のあたる所に燃焼器具を置かない
不完全燃焼や熱によるエアコン変形の原因になります。




設置禁止

室内ユニットの金属部にさわらない
フィルターをはずしたときにケガの原因になります。




室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない
冷房時、多湿(湿度80%以上)時の長時間運転及びほこりなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。



設置禁止

特殊用途に使用しない
精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しない。品質低下の原因になります。



使用禁止

直接風があたる所に動植物を置かない
動植物に悪影響を及ぼす原因になります。




設置禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹き付けない
火災・変形の原因になります。




使用禁止

エアコンの近くで火気(調理器具など)を使用しない
熱により、エアコンが変形したり、発火する原因になります。



使用禁止

フィルターなどの着脱、手動での風向調節のときは不安定な台に乗らない
落下・転倒によるケガの原因になります。



エアコンの近くで、加湿器を使用しない
蒸気を直接吸い込むと、故障や露たれの原因になります。



室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない
落下・転倒によるケガの原因になります。




エアコンの下方に食品や食器を置かない
ほこり・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は十分ご注意ください。



注意

運転中に冷媒配管に触れない

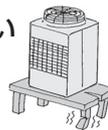
素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。



禁止

据付台などがいたんだ状態で放置しない

ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。



放置禁止

フィルターなどの着脱には、保護具(メガネなど)を着用する

目にゴミ・ほこりが入ることがあります。フィルター清掃は専門の業者に依頼してください。



保護具着用

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になります。



換気

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



電源を切る

室内を薬品消毒するときにはエアコンに薬品が付着しないよう、シートなどで覆い、エアコンを停止する

薬品や薬品から発生するガスが付着すると腐食・変形の原因になります。また、薬品が飛散し危険です。



エアコン停止

室内を薬品消毒したあとには必ず換気をし、薬品及び薬品から発生したガスを十分排気してから、エアコンを運転する

薬品や薬品から発生するガスが付着したり、吸い込んだりするとエアコンの腐食・変形の原因になります。



換気・送風運転

据付時 次の項目をご確認ください。

警告

据付けや移設などの場合は、冷凍サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない

- 空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因になり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらすおそれがあります。



禁止

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しない

- 法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生のおそれがあります。
- 封入冷媒の種類は、室外ユニットの据付工事説明書、あるいは銘板に記載されています。
- それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤作動などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。



禁止

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれのある場所へは据え付けない

万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。



設置禁止

据付けは、お買上げの販売店又は専門業者にご依頼ください(安全や機能の確保ができません)



据付け

漏電遮断器を取り付ける

取り付けしていないと、感電の原因になります。



漏電遮断器

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。



専用回路

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。



設置場所

使用される別売部品やフィルターは当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客様ご自身で取り付け不備があると、感電・火災・故障・水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。



別売部品

元電源の取付位置を確認する



元電源

注意

ドレン配管は確実にを行う

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。



排水

アース工事を行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース線を必ず接続せよ

●冷媒(フロンガス)についてのご注意

このエアコンに使用されている冷媒は、通常漏れることはありませんが、万一冷媒が漏れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いので、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。
(冷媒が漏れたときの処置)
万一冷媒が漏れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして十分換気を行ってください。その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください

- 可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- 機械油を使用するところ
- 車輻・船舶など移動するものへの設置
- 高周波を発生する機械を使用するところ
- 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪の多いところ

● お使いになる前に 各部のなまえ

室内ユニット

■ユニットの形態により、装備している機能が異なります。

		PL-ZRP・HA3形 PL-HRP・HA3形 PL-ERP・HA3形	PL-RP・GA6形	PM-(H)RP・FA20形	PC-RP・KA(L)20形	PC-RP・HA20形
風速		4速(自動可)	4速(自動可)	4速(自動可) ^{※2}	4速(自動可)	2速
上下風向調節		自動(スイング可) ^{※1}	自動(スイング可) ^{※1}	自動(スイング可) ^{※3}	自動(スイング可)	手動
左右風向調節		自動(スイング可) ^{※1}	—	—	手動	手動
フィルターロングライフ仕様		○	○	○	○	×(オイルフィルター)
フィルタークリーニングサイン積算時間		2500時間	2500時間	2500時間	2500時間	100時間
ワイヤレスリモコン 機種設定機種No. ^{※4}	冷暖切換タイプ	001	001	001	001	019
	冷房専用タイプ	161	161	161	161	179

※1 暖房時はウェーブ気流になります。ワイヤードリモコンからベーンの固定設定ができます。

左右風向調節は別売左右ルーバーユニットをご使用の場合に設定可能です。

※2 別売前吹出グリルを使用し、2方向吹出設定とした場合、風速は1速となります。

※3 別売前吹出グリルを使用し、前吹出設定とした場合、パネルの上下風向ベーンは閉じた状態で固定となります。

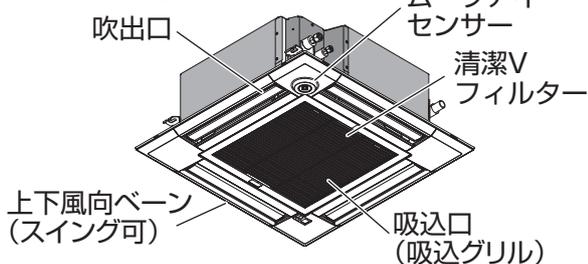
※4 ワイヤレスリモコンを使用する場合には、ワイヤレスリモコンの「機種No.」の設定を行ってください。(上表参照)

・室外ユニットタイプ(冷暖切換タイプ/冷房専用タイプ)により設定する「機種No.」が異なります。

・ワイヤレスリモコンの機種設定方法は、ワイヤレスリモコンの据付工事説明書をご確認ください。

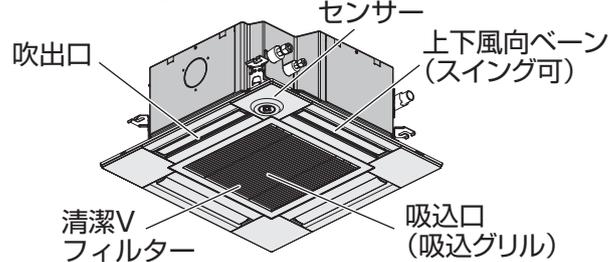
PL-ZRP・HA3形 / PL-HRP・HA3形 / PL-ERP・HA3形

■4方向天井カセット形



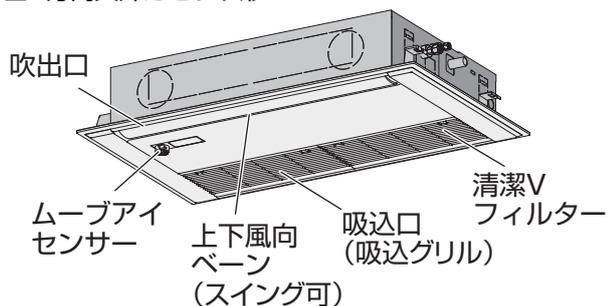
PL-RP・GA6形

■4方向天井カセット形



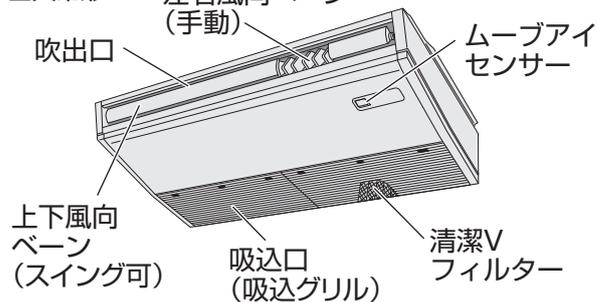
PM-(H)RP・FA20形

■1方向天井カセット形



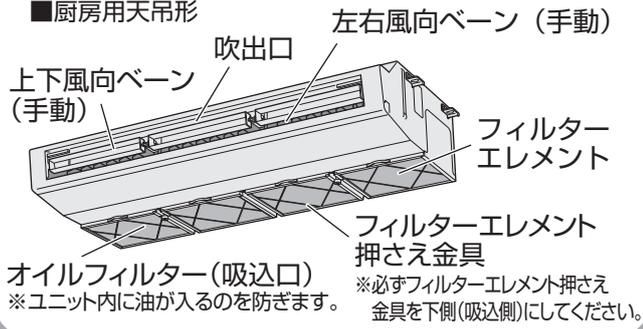
PC-RP・KA(L)20形

■天吊形

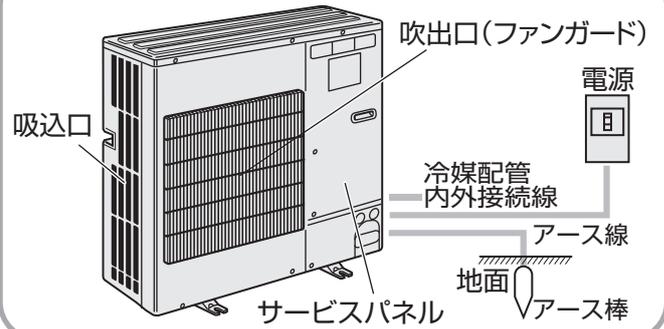


PC-RP・HA20形

■ 厨房用天吊形



室外ユニット



リモコン



表示部

操作部

ワイヤレスリモコン
(別売部品)



表示部

操作部

MAスマートリモコン
(別売部品)

各部のなまえ

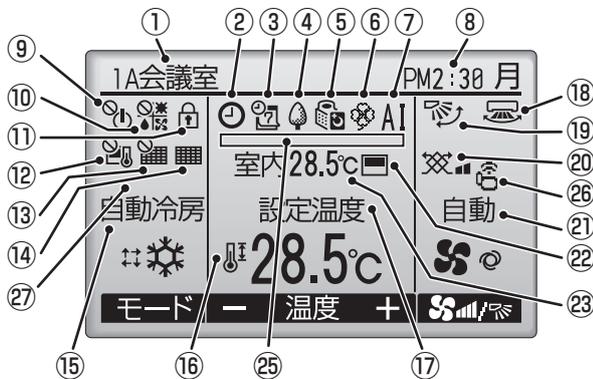
● お使いになる前に 各部のなまえ

MAスマートリモコン (別売部品)

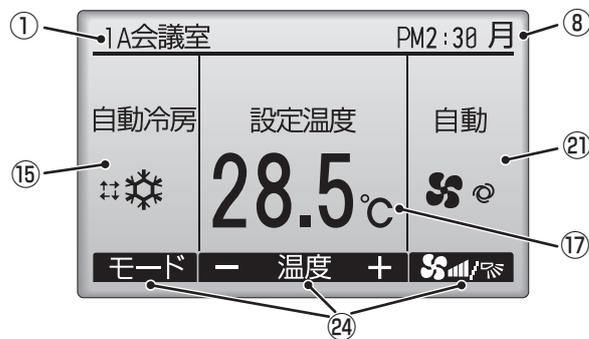
表示部

- 操作部、表示部はMAスマートリモコンを記載しています。(説明のため全ての表示内容を示しています。)
- メイン画面は「詳細」「簡易」「日英併記」「空調換気」の4種類があります。初期設定は詳細表示となっています。

詳細画面 (メイン画面)



簡易画面 (メイン画面)

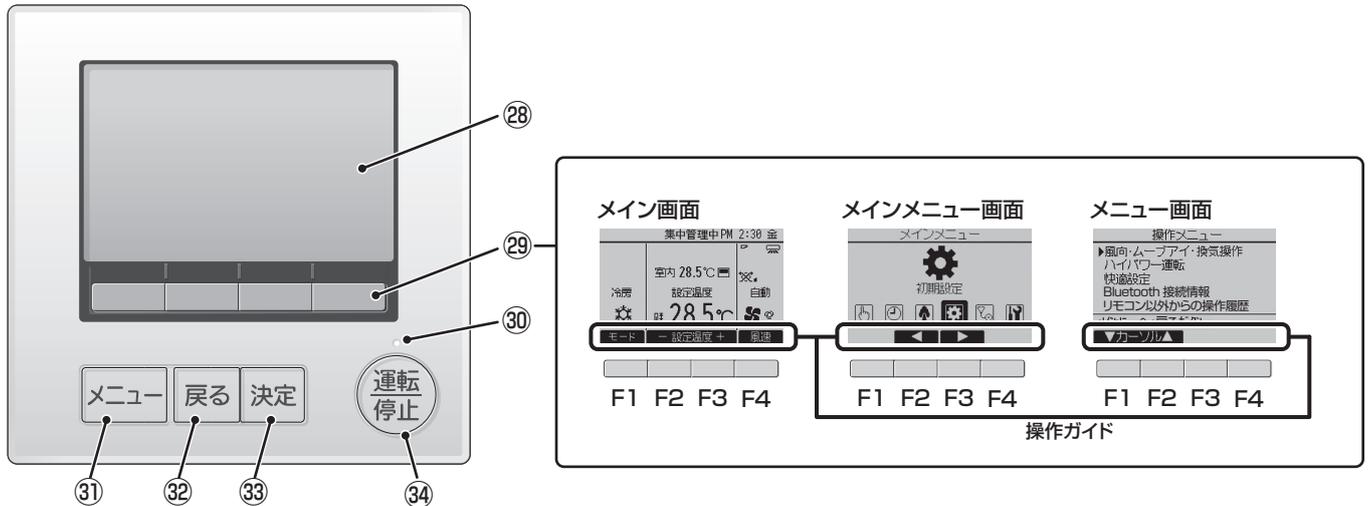


各部のなまえ

番号	表示/名称	説明
①	リモコン名	リモコンの名前を表示します。
②	🕒	オン/オフタイマー又は消忘れ防止タイマー設定が有効のときに表示します。
③	📅	週間スケジュールタイマー設定が有効のときに表示します。
④	💧	省エネ制御中に表示します。
⑤	🏠	室外サイレントモード制御中に表示します。
⑥	🌿	パワーシェア運転有効中に表示します。
⑦	AI	ムーブアイmirA.I.有効中に表示します。
	🌿	ムーブアイ省エネ運転中に表示します。
⑧	時刻	現在の時刻を表示します。
⑨	🔌	発停操作が集中管理中のときに表示します。
⑩	🔄	運転モード操作が集中管理中のときに表示します。
⑪	🔒	操作ロック設定が有効のときに表示します。
⑫	🔧	設定温度操作が集中管理中のときに表示します。
⑬	🧼	フィルタークリーニングサインのリセット操作が集中管理中のときに表示します。
⑭	🧼	フィルターのお手入れ時期になると表示します。
⑮	運転モード	運転中の状態を表示します。
⑯	🌡️	設定温度範囲制限設定が有効のときに表示します。
⑰	設定温度	設定温度を表示します。
⑱	🌀	設定したルーバーの状態を表示します。
⑲	🌀	設定した風向の状態を表示します。
⑳	🌀 🌀	設定した換気の状態を表示します。
㉑	風速	設定した風速の状態を表示します。
㉒	📏	室内温度を検知するセンサー位置がリモコンのときに表示します。 室内ユニットのときは 📏 を表示します。
㉓	室内温度	現在の室内温度を設定します。
㉔	ファンクションボタン操作ガイド	ファンクションボタンの機能名を表示します。
㉕	CO ₂ 濃度値表示	無線センサを使用する場合に、無線センサから取得した現在のCO ₂ 濃度値を表示します。無線センサから取得したCO ₂ 濃度が無線センサ設定の目標CO ₂ 濃度で設定した値以上となった場合は反転表示します。
	CO ₂ 急速換気中	換気扇連携中に換気扇の運転が「急速」の場合に表示します。本内容を表示させるためには無線センサ設定のCO ₂ センサー使用を「しない」に設定してください。
㉖	🏠	無線センサを使用する場合に、換気操作で「連動」を設定しているときに表示します。
㉗	空清	ヘルスエアー機能搭載クリーンユニットを接続した場合に表示します。

*ムーブアイmirA.I.有効かつムーブアイ省エネ運転中の場合は、ムーブアイmirA.I.有効中のアイコンを表示します。

操作部



各部のなまえ

番号	表示/名称	説明
⑳	液晶表示部 (バックライト付)	運転内容を表示します。 バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。 一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。 バックライトの点灯時間は画面により異なります。
㉑	ファンクションボタン	ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。 液晶表示下部の操作ガイドに従って操作してください。
	F1ボタン	メイン画面：運転モードを切り換えます。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	F2ボタン	メイン画面：設定温度を下げます。 メインメニュー画面：カーソルが左に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	F3ボタン	メイン画面：設定温度を上げます。 メインメニュー画面：カーソルが右に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	F4ボタン	メイン画面：風速を切り換えます。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
㉒	運転ランプ	運転中、緑色に点灯します。立上げ時、異常時は点滅します。
㉓	メニューボタン	メインメニューを表示します。
㉔	戻るボタン	前の画面に戻ります。
㉕	決定ボタン	設定の決定をします。
㉖	運転/停止ボタン	一度押すと運転し、もう一度押すと停止します。

■バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。バックライトのみ点灯します。
(運転/停止ボタンは除く)

■基本運転(運転/停止、運転モード切換、風速調節、温度調節)以外はメニュー画面からの設定となります。

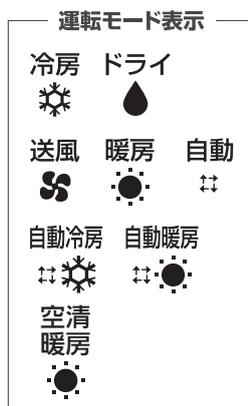
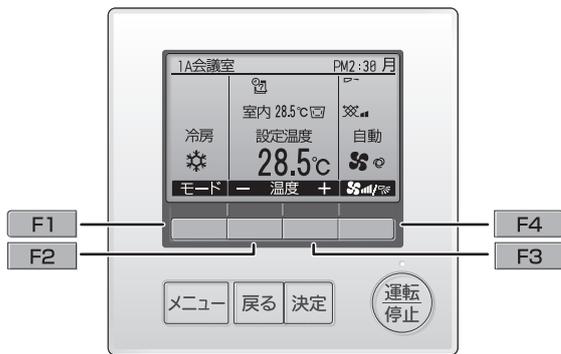
お願い

■付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、又は直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散する場所にはリモコンを取り付けしないでください。

● 運転のしかた 運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

運転開始の前に... 電源が入っているか確認してください。停電や電気工事、また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。

MAスマートリモコン



※ヘルスエアー機能搭載クリーンユニットを接続した場合、運転モードの文字の上に「空清」を表示します。

運転の開始、運転モードを選ぶとき

運転開始したいとき

ボタンを押す。運転ランプと表示が点灯します。

運転モードを変えたいとき

F1 ボタンを押す。●1回押すごとに設定が切り換わります。



※1 冷房専用機種の場合は、自動と暖房の表示はされません。設定もできません。
 ※2 室温18℃以下では、ドライ運転はできません。

運転を停止するとき

ボタンを押す。

再運転時の運転内容(リモコン設定)

●再運転時は下記リモコン設定内容となります。

リモコン設定内容		
運転モード	前回の運転モード	
設定温度	前回の設定温度	
風速	前回の設定風速	
上下風向	冷房・ドライ	前回の設定風向
	暖房	前回の設定風向
	送風・換気	前回の設定風向

※ワイヤレスリモコンでの再運転は、リモコンに設定されている内容に従います。

お願い

■運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。

お願い

■リモコンを先のとがった物で押さないでください。故障の原因になります。



設定温度を変えたいとき

室温を下げたいとき

F2 ボタンを押す。

室温を上げたいとき

F3 ボタンを押す。

- 1回押すごとに設定温度を0.5℃変えられます。
- 温度設定範囲は次のとおりです。*1

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19~30℃	17~28℃*2	19~28℃	設定できません

※1 設定温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。(設定温度範囲制限中は が表示されます。) 範囲を超えて設定しようとした場合、「設定温度制限中」が表示され、制限中であることが表示されます。詳細はリモコンの取扱説明書をご覧ください。

※2 ズバ暖スリム室外ユニット組合せ時は、10℃の設定ができます。組合せ機器に制約がありますので、詳細についてはカタログなどをご確認ください。

風速を変えたいとき

F4 ボタンを押す。

● 1回押すごとに設定が切り換わります。

	風速	リモコン表示
PL-ZRP・HA3形 PL-HRP・HA3形 PL-ERP・HA3形 PL-RP・GA6形 PM-(H)RP・FA20形 ※1 PC-RP・KA(L)20形	4段階 + 自動	(静粛) → (弱) → (中) → (強) → (自動)
PC-RP・HA20形	2段階	(弱) → (強)

お知らせ

■ このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なる場合があります。

- “暖房準備中”・“暖房霜取中”表示のとき
- 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
- 暖房モードで外気温度が高いとき
- 暖房運転直後（モード切換待機中）
- 冷房運転直後
- 冷房運転中（室温が設定温度に近いとき）
- ドライ運転のとき
- 内部クリーン運転のとき

■ 風速自動設定時は、室内温度が設定温度に近づくときと静音性を優先し風速を下げます。能力不足や温度ムラを感じた場合は風速を強などに変更してください。

※1 PM-(H)RP・FA20形にて、別売前吹出グリルを使用し、2方向吹出設定とした場合、風速は1段階となります。風速表示は のみとなり操作できません。

風向を変えたいとき

● **F4** ボタンの長押し(1秒以上)操作、又は本操作により風向操作画面を表示させ風向を設定します。

1

メニュー ボタンを押す。

2

決定 ボタンを押す。

3

決定 ボタンを押す。

4 (人感ムーブアイ対応) (人感ムーブアイ非対応)

上下風向
F1 ボタン、
左右風向 ※2
F2 ボタンを押す。

上下風向
F1 **F2** ボタン、
左右風向 ※2
F3 ボタンを押す。

● **F1**、**F2** ボタンを1回押すごとに設定が切り換わります。

		リモコン表示
PL-ZRP・HA3形 PL-HRP・HA3形 PL-ERP・HA3形	上下	自動 ※4 → 設定1 → 設定2 → 設定3 → 設定4 → 設定5 → スイング ※1
	左右 ※2	自動 ※4 → 正面 → スイング
PL-RP・GA6形		自動 ※4 → 設定1 → 設定2 → 設定3 → 設定4 → 設定5 → スイング ※1
PM-(H)RP・FA20形 ※3		自動 ※4 → 設定1 → 設定2 → 設定3 → 設定4 → 設定5 → スイング
PC-RP・KA(L)20形		自動 設定1 設定2 設定3 設定4 設定5 スイング

※1 暖房時はウェーブ気流になります。(22ページ参照)

※2 別売左右ルーバーユニットをご使用の場合、設定可能となります。

※3 別売前吹出グリルを使用し、前吹出設定とした場合、パネルの上下風向ペーンは閉じた状態で固定となります。風向は表示されません。

※4 自動時の風向はパネルによって異なります。(10ページ参照)

風向を変えたいとき(続き)

標準パネル、
PC-RP-KA(L)20形

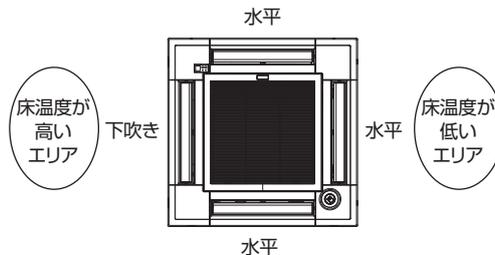
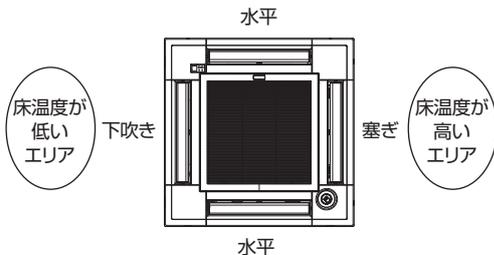
上下風向：冷房・送風・ドライは設定1、暖房は設定5
左右風向：スイング(PL-ZRP-HA3形、PL-HRP-HA3形、PL-ERP-HA3形の別売左右ルーバーユニット接続時のみ)

接続室外ユニット：
ERMP/CRMP

〈PL-ERP-HA3形〉ムラなしモードとなります。

■暖房時 エリアの床温の温度差があるときは下図のようになります。
床温度差が小さくなると全て下吹き(設定5)になります。

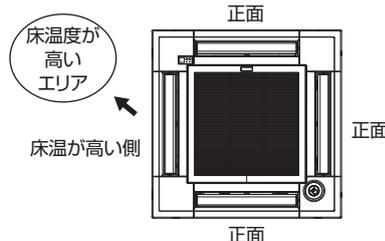
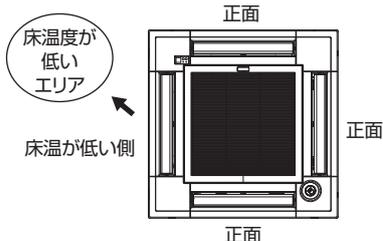
■冷房時 エリアの床温の温度差があるときは下図のようになります。
床温度差が小さくなると全て水平(設定1)になります。



※別売左右ルーバーユニット接続時の左右風向

■暖房時 エリアの床温の温度差があるときは下図のようになります。
床温度差が小さくなると全てスイングになります。

■冷房時 エリアの床温の温度差があるときは下図のようになります。
床温度差が小さくなると全てスイングになります。



〈PM-RP-FA20形、PC-RP-KA(L)20形〉標準と同じ

接続室外ユニット：
ZRMP/HRMP/
DHRMP

〈PL-ZRP-HA3形、PL-HRP-HA3形、PL-RP-GA6形、PM-(H)RP-FA20形〉

人感ムーブアイ設定により変化します。

- ・省エネ自動モードの場合：標準と同じ
- ・快適自動モードの場合：人を検知した場合、下記ようになります。
検知していない場合は標準と同じです。

	冷房・ドライ・送風	暖房
風よけ ※5	冷風防止 ※7	冷風防止 ※7
風あて ※6	スイング ※8	設定5

※別売左右ルーバーユニット接続時に人を検知した場合、下記ようになります。
検知していない場合は標準と同じです。(ただし風よけ時の左右風向は正面)

	冷房・ドライ・送風		暖房	
	上下風向	左右風向	上下風向	左右風向
風よけ ※5	設定5 ※9	人のいない側	設定5 ※9	人のいない側
風あて ※6	スイング	人のいる側 ※10	設定5	人のいる側 ※10

・ムラなしモードの場合：接続室外ユニットがERMP/CRMPのときと同じ
(PM-(H)RP-FA20形は設定できません)

〈PC-RP-KA(L)20形〉標準と同じ

※5 「風よけ」設定でも風があたる場合があります。

※6 「風あて」設定でも風があたらない場合があります。

※7 13ページの冷風防止ペーン設定と同じです。吹き出した空気により天井が汚れる場合があります。PM-RP-FA20形は設定1になります。

※8 送風運転時は設定5になります

※9 左/右エリア両方に人がいる場合は上下風向を冷風防止設定にして風よけします。

※10 複数のエリアで人を検知した場合はスイングになります。

風向を変えたいとき(続き)

● 上下風向ベーンの運転・設定内容

運転モード	風速	設 定					
暖房・送風	強・中・弱・静粛	スイング	設定1	設定2	設定3	設定4	設定5
冷房	強・中						
	弱・静粛	スイング	設定1	設定2*	設定3*	設定4*	設定5*
ドライ	設定不可						

※PM-(H)RP-FA20形、PC-RP-KA(L)20形の場合、1時間経過すると自動的に水平吹出し(設定1)に戻ります。

運転モード変更時の上下風向ベーンの設定内容
(スイング設定のときは継続します。)

- 冷房・送風・ドライモードにしたとき…設定1になります
- 暖房モードにしたとき……………設定5になります

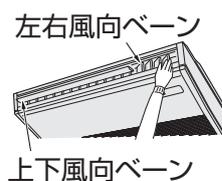
お知らせ

- このようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。
 - “暖房準備中”・“暖房霜取中”表示のとき
 - 暖房運転直後(モード切替待機中)
 - 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
- PL-ZRP・HA3形、PL-HRP・HA3形、PL-ERP・HA3形、PL-RP-GA6形の場合は、吹出口毎に上下風向・左右風向*を固定することができます。
12,13ページを参照して、操作してください。
なお、固定した吹出口の風向は、リモコンによる操作、及び全ての自動コントロールが無効になります。
また、リモコンの液晶表示と異なる場合があります。
※左右風向の固定は、PL-ZRP・HA3形、PL-HRP・HA3形、PL-ERP・HA3形の別売左右ルーバーユニット接続時のみ
- PM-(H)RP-FA20形にて、別売前吹出グリルを使用し、2方向吹出設定とし、冷房時の上下風向ベーンを設定2～設定5にした場合は、風速設定によらず1時間経過すると自動的に水平吹出し(設定1)に戻ります。

【手動】風向を変えたいとき

PC-RP・KA(L)20形の場合

- 左右風向： ● 運転を停止し、上下風向ベーンの右端を持って水平に動かしてください。
● 左右風向ベーンを、お好みの向きに調節してください。



PC-RP・HA20形の場合

- 上下風向： ● 運転を停止し、上下風向ベーンを、お好みの向きに調整してください。
(ベーンは上向き10°～下向き45°まで変えられます。)
※冷房、ドライ運転時に下向きにしますと、吹出口周辺に結露し、滴下することがあります。そのときは、風向を調節してください。
※上下方向の風向調節は、据付時に調節したあとはなるべく操作しないでください。
- 左右風向： ● 運転を停止し、上下風向ベーンを水平にして作業してください。
ただし、吹出口左右両端のルーバーは固定されており動きませんので注意してください。
● 左右風向ルーバーを、お好みの向きに調節してください。
(ルーバーは左右、各々約45°まで変えられます。)
※冷温風が、火気や調理台・食材に直接あたり、調理に影響を及ぼす場合は、風向を調節してください。



⚠ 注意

フィルターなどの着脱、手動での風向調節のときは不安定な台に乗らない
落下・転倒によるケガの原因になります。

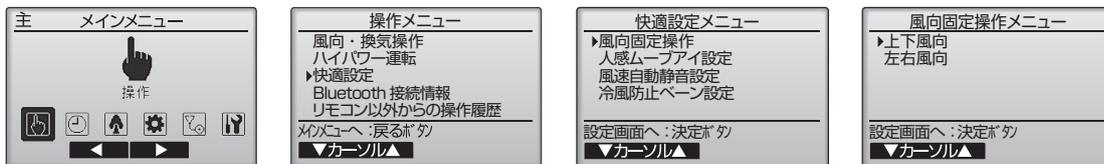
風向の固定設定方法 (MAスマートリモコン・ワイヤレスリモコンPAR-SC4UAから固定設定できます)

● PL-ZRP・HA3形、PL-HRP・HA3形、PL-ERP・HA3形、PL-RP・GA6形の場合、下記の設定で、特定の吹出口のみ、特定の風向角度に固定することができます。一度下記の設定を行えば、以後エアコンを運転した際も設定が継続されます。(その他の吹出口の風向は、リモコンの風向操作画面の設定に従います。)

【手順1】 エアコンを『停止』にして、リモコンを『風向固定操作』画面にします。

- 1 メインメニュー画面で「操作」を選択し **決定** ボタンを押します。
- 2 操作メニュー画面から **F1** ボタン、**F2** ボタンにより「快適設定」を選択し **決定** ボタンを押します。
- 3 快適設定メニュー画面で「風向固定操作」を選択し **決定** ボタンを押します。
- 4 風向固定操作メニュー画面から **F1** ボタン、**F2** ボタンにより「上下風向」又は「左右風向※」を選択し **決定** ボタンを押します。

※左右風向の固定は、PL-ZRP・HA3形、PL-HRP・HA3形、PL-ERP・HA3形の別売左右ルーバーユニット接続時のみ



【手順2】 設定したい室内ユニットを選択します。

- 1 **F1** ボタンで「冷媒アドレス」、「号機」を選択します。
F2 ボタン、**F3** ボタンにより設定する「冷媒アドレス」
「号機」を選択し **決定** ボタンを押します。

・冷媒アドレス:0~15
・号機:1/2/3/4

※接続されている冷媒アドレス,号機のみ選択できます。

- 2 **F1** ボタンで「風向設定」を選択します。
F2 ボタン、**F3** ボタンにより「4方向」を選択し、
F4 ボタンを押します。

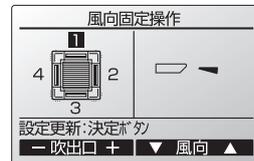


※「上下風向」選択時の場合

● 設定する室内ユニットを確認したい場合、上記1の手順で「冷媒アドレス」と「号機」を選択し **F4** ボタンを操作することで、対象室内ユニットのベーンのみ下吹きになります。詳細は **対象ユニット確認の手順** (14ページ) をご覧ください。

【手順3】 現在の設定内容が表示されます。

- 1 現在の設定内容が表示されます。
F1 ボタン、**F2** ボタンで「吹出口」を選択します。
選択した「吹出口」の現在の固定設定状態が下図のように表示されます。



※「上下風向」選択時の場合

〈上下風向の場合〉



〈左右風向の場合〉



風向の固定設定方法(続き)

【手順4】 風向を設定します。

- 1 設定したい「吹出口」,「風向」を設定します。
 F1 ボタン, F2 ボタンで固定したい「吹出口」を選択します。
 ・吹出口: 1, 2, 3, 4, 全て(1~4全て反転表示)
 F3 ボタン, F4 ボタンで設定したい「風向」を選択します。
 選択し終わったら 決定 ボタンを押します。設定中画面が表示されます。

お知らせ

- 「吹出口」は各吹出口の両端にある四角溝形状(吹出口識別マーク)の数に対応しています。
- 選択している「吹出口」に対して設定を行います。
各吹出口を別々の風向で設定したい場合は、吹出口ごとに設定を行ってください。
- ドラフトセーブでは上下風向ベーンを設定1よりも水平な角度にします。
詳細は24ページをご覧ください。
- ドラフトセーブをした場合、吹き出した空気により天井が汚れる場合があります。



吹出口識別マーク

【手順5】 各「吹出口」の「風向」を設定します。

- 1 【手順4】を参考に、各吹出口の設定を行います。
- 2 他の室内ユニットの設定を行いたい場合は、【手順3】の画面で 戻る ボタンを押して【手順2】の画面に戻し、【手順2】~【手順4】を参考に各室内ユニットの風向固定設定を実施してください。

【手順6】 風向固定操作の終了

- 1 【手順2】にて 戻る ボタンを押してメンテナンスメニュー画面に戻ります。
- 2 メニュー ボタンを押すとメンテナンス終了処理を実施(約30秒)後、メインメニューに戻ります。

【固定内容のクリア方法】

- 上記【手順4】の操作にてクリアしたい「吹出口」を選択して、風向設定で「設定無し」を設定してください。

冷風防止ベーン設定方法 <MAスマートリモコンからのみ設定ができます。>

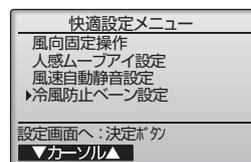
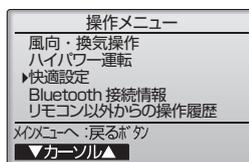
- PL-ZRP・HA3形、PL-HRP・HA3形、PL-ERP・HA3形、PL-RP・GA6形、PC-RP・KA(L)20形の場合、下記の設定で、ベーン設定角度を標準位置よりも高めに設定し、水平吹出しによる冷房時のドラフト感を抑えることができます。

お知らせ

- 冷風防止ベーン設定をした場合、吹き出した空気により天井が汚れる場合があります。

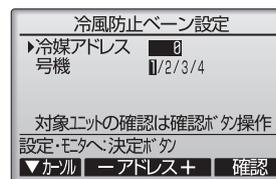
【手順1】 エアコンを『停止』にして、リモコンを『冷風防止ベーン設定』画面にします。

- 1 メインメニュー画面で「操作」を選択し 決定 ボタンを押します。
- 2 操作メニュー画面から F1 ボタン、F2 ボタンにより「快適設定」を選択し 決定 ボタンを押します。
- 3 快適設定メニュー画面から F1 ボタン、F2 ボタンにより「冷風防止ベーン設定」を選択し 決定 ボタンを押します。



【手順2】 設定したい「冷媒アドレス」,「号機」を選択します。

- 1 F1 ボタンで「冷媒アドレス」,「号機」を選択します。
 F2 ボタン, F3 ボタンにより設定する「冷媒アドレス」
 「号機」を選択し 決定 ボタンを押します。
 ・冷媒アドレス: 0~15
 ・号機: 1 / 2 / 3 / 4
 ※接続されている冷媒アドレス,号機のみ選択できます。



メモ

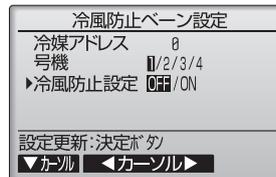
- 設定する室内ユニットを確認したい場合、上記1の手順で「冷媒アドレス」と「号機」を選択し F4 ボタンを操作することで、対象室内ユニットのベーンのみ下吹きになります。
 詳細は 対象ユニット確認の手順 (14ページ)をご覧ください。

冷風防止ベーン設定方法（続き）

【手順3】現在の設定内容が表示されます。

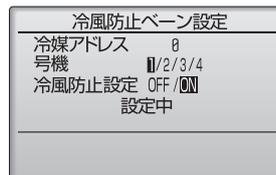
1 【手順2】で指定した室内ユニットの現在の設定内容が表示されます。

・冷風防止設定:OFF(標準設定)／ON(冷風防止設定)



【手順4】冷風防止を設定します。

1 F2 ボタン, F3 ボタンにより「冷風防止設定」を設定し 決定 ボタンを押します。



● 「冷媒アドレス」、「号機」を変更すると【手順2】に戻ります。

【手順5】他の室内ユニットへの設定

1 【手順4】を参考に、各室内ユニットの設定を行います。

2 他の室内ユニットの設定を行いたい場合は、【手順4】の画面で「冷媒アドレス」、「号機」を変更して【手順2】の画面に戻し、【手順2】～【手順4】を参考に各室内ユニットの風向固定設定を実施してください。

【手順6】冷風防止ベーン設定の終了

1 【手順2】にて 戻る ボタンを押してメンテナンスメニュー画面に戻ります。

2 メニュー ボタンを押すとメンテナンス終了処理を実施(約45秒)後、メインメニューに戻ります。

対象ユニット確認の手順

【手順1】最初に「冷媒アドレス」=0, 「号機」=1から確認します。

1 F1 ボタンで「冷媒アドレス」、「号機」を選択します。

F2 ボタン, F3 ボタンにより確認する「冷媒アドレス」「号機」を設定し

F4 ボタンを押します。

・冷媒アドレス:0～15

・号機:1／2／3／4

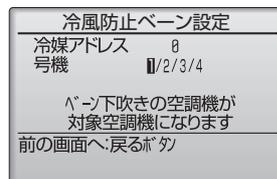
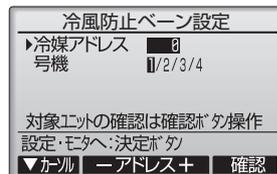
※接続されている冷媒アドレス,号機のみ選択できます。

2 F4 ボタン操作後、約15秒お待ちください。

・吹出口が下吹きになる。→「冷媒アドレス」=0,「号機」=1のエアコンです。

・全ての吹出口が塞がる。→【手順2】へ

3 戻る ボタンを押して、1 の画面に戻します。



【手順2】「号機」を順次変更して確認します。

1 F1 ボタンで「号機」を選択します。

F2 ボタン, F3 ボタンにより確認する「号機」を変更し F4 ボタンを押します。

2 F4 ボタン操作後、約15秒お待ちください。

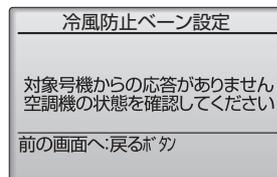
・吹出口が下吹きになる。→リモコンに表示されているエアコンです。

・全ての吹出口が塞がる。→ 戻る ボタンを押して、1 からの操作を続けます。

・右記、メッセージ画面が表示される。→この冷媒アドレスの中に、対象号機が存在しません。

【手順3】へ

3 戻る ボタンを押して、【手順1】 1 の画面に戻します。



【手順3】「冷媒アドレス」を次の番号に変更して確認します。

1 【手順1】の操作を参考に冷媒アドレスを変更して確認を続けます。

● 運転のしかた タイマー、スケジュール運転のしかた

MAスマートリモコンから、タイマー運転、週間スケジュール運転の設定ができます。MAスマートリモコンのメニューボタンを押してメインメニュー画面を表示し、**F2** **F3** ボタンで設定したい項目を選択します。各運転の詳細設定方法は、リモコンの取扱説明書をご確認ください。



タイマー運転

■ オン／オフタイマー

運転開始時刻と停止時刻が5分単位で設定できます。

■ 消忘れ防止タイマー

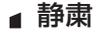
運転を開始してから停止するまでの時間を10分単位で設定できます。設定時間は30分から240分の範囲で設定できます。

週間スケジュール運転

1週間の運転開始時刻と停止時刻及び設定温度を1日最大8パターン設定できます。また、週間スケジュールを2種設定できます。(例：夏用、冬用スケジュールなど)

室外サイレントモード運転※

室外ユニットの静音性を優先した運転を行います。

1週間の室外サイレントモード運転開始時刻と停止時刻が設定できます。  中  静  静粛
室外ユニットの静音レベルは「中」「静」「静粛」から選択できます。
サイレントモード中は低騒音優先のため、能力がセーブされます。能力不足を感じた場合はサイレントモードを無効にしてください。

※室外ユニットタイプにより設定できない場合があります。

省エネ運転

■ 設定温度自動復帰

設定時間後に、設定した温度に戻します。
設定時間は10分単位で30分から120分の範囲で設定できます。

■ 省エネ運転スケジュール

1週間の省エネ運転開始時刻と停止時刻、能力セーブ値が設定できます。
1日最大4パターンの設定ができます。
設定時刻は5分単位で設定できます。
能力セーブ値は10%単位で90%から50%の範囲と0%で設定できます。

■ パワーシェア運転

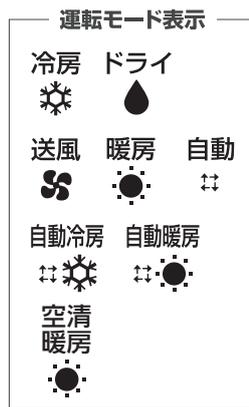
1グループ内で必要な空調能力を各冷媒が分け合うことで効率良く運転を行います。
2～4冷媒システムが1グループの場合のみ設定できます。

お知らせ

■ タイマー運転はワイヤレスリモコンでも設定できます。設定方法については、ワイヤレスリモコンに付属の取扱説明書をご参照ください。

室外サイレントモード運転、省エネ運転は、ワイヤレスリモコンでは設定できません。

● 運転のしかた 自動運転、換気運転のしかた



※ヘルスエアー機能搭載クリーンユニットを接続した場合、運転モードの文字の上に「空清」を表示します。

自動運転を行うとき

- 1 運転停止 ボタンを押す。
- 2 F1 ボタンを押し、表示を 自動 にする。

設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。(下記「自動運転とは」参照)

※運転モードが確定した後に、現在の運転モード[自動冷房]、[自動暖房]が表示されます。
 なお、リモコンの初期設定で、「自動冷暖房表示:しない」に設定変更されている場合には、「冷房」、「暖房」は表示されません。([自動]の表示のみ)
 (リモコンの初期設定については、リモコンの据付工事説明書(設定編)を参照してください。)

自動運転とは

- 設定温度より室温が高いときは冷房運転を開始し、室温が低いときは暖房運転を開始します。
- 自動運転中に室温が変化し設定温度より2℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切り換わります。また、2℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切り換わります。



換気運転を行うとき

- 室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき 運転停止 ボタンを押す。
 室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。
- 換気装置を単独で運転するとき

- 1 メニュー ボタンを押す。
- 2 決定 ボタンを押す。
- 3 決定 ボタンを押す。
- 4 F4 ボタンを押す。

- 換気運転の風速を変えたいとき F4 ボタンを押す。

お知らせ

■ 室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

※換気運転を行う場合は、当社ロスナイとの連動又は、換気制御インターフェース連携が必要になります。

● 運転のしかた ハイパワー運転、静音自動モード設定のしかた

ハイパワー運転を行うとき

1 **メニュー** ボタンを押す。 **2** **決定** ボタンを押す。 **3** **F1** ボタンを押す。 **4** **F4** ボタンを押す。

決定 ボタンを押す。 決定 ボタンを押す。

The diagram illustrates the steps to activate High Power mode. It starts with the main control screen showing room temperature (28.5°C) and mode (Auto). Step 1: Press the Menu button (F1). Step 2: Press the Enter button (F2). Step 3: Press the F1 button to enter the Operation Menu. Step 4: Press the F4 button to select High Power mode. Below each step, a row of function keys (F1-F4) is shown with the corresponding button highlighted. At the bottom of each step, a row of control buttons (Menu, Back, Enter, Stop) is shown with the Stop button highlighted.

- 運転能力を上げて、すばやく快適な室温に近づけます。
- ハイパワー運転は最大30分間運転し、自動で通常運転に戻ります。
- 運転モード切換、風速切換を行ったときも、通常運転に戻ります。
- 室外ユニット及び室内ユニットの騒音が大きくなる場合があります。

お知らせ

■ 室外ユニットタイプによりハイパワー運転できない場合があります。

静音自動モード設定をするとき

- 風速自動設定時、静音性を優先した運転をします。風速自動静音設定中は低騒音優先のため、能力がセーブされます。能力不足を感じた場合は風速自動静音設定を通常にしてください。

1 エアコンを「停止」にして、**2** **F2** **F3** ボタンで
メニュー ボタンを押す。 「操作」を選択し 決定 ボタンを押す。 **3** 操作メニュー画面から **F1** ボタン、
F2 ボタンにより「快適設定」を選択し 決定 ボタンを押します。

4 **F1** **F2** ボタンで 「風速自動静音設定」を選択し 決定 ボタンを押す。 **5** **F3** **F4** ボタンで 「静音」を選択し 決定 ボタンを押す。

The diagram illustrates the steps to set Silent Auto mode. Step 1: Stop the AC. Step 2: Press F2 and F3 buttons, then press the Enter button. Step 3: In the Operation Menu, press F1 then F2 to select Comfort Settings. Step 4: In the Comfort Settings menu, press F1 then F2 to select Wind Speed Auto Silent Setting. Step 5: In the Wind Speed Auto Silent Setting menu, press F3 then F4 to select Silent. Below each step, a row of function keys (F1-F4) is shown with the corresponding buttons highlighted. At the bottom of each step, a row of control buttons (Menu, Back, Enter, Stop) is shown with the Stop button highlighted.

※ 室外ユニットタイプにより、設定できない場合があります。

ハイパワー運転、静音自動モード設定のしかた

ワイヤレスリモコンをご使用になる場合

ワイヤレスリモコンの操作方法については、ワイヤレスリモコンに付属の取扱説明書、及び据付工事説明書をご参照ください。

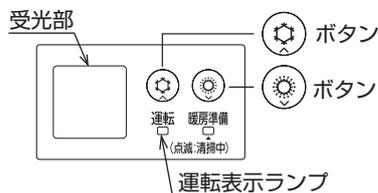
- ワイヤレスリモコンは、室内ユニットの受光部に向かって送信してください。
- 電源を入れてすぐにワイヤレスリモコン操作をした場合、室内ユニットから“ピピピ”又は“ピーピーピー”と発信音がすることがあります。初期自動点検中ですので約3分お待ちください。
- ワイヤレスリモコン送信部の信号が受光部へ届き、室内ユニットから、“ピッ”と音を出してお知らせします。この信号の届く範囲は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなる場合があります。
- 換気単独運転はできません。
- 受光部付近の運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。お買上げの販売店へご連絡ください。
- ワイヤレスリモコンの取扱いは大切に！ 落としたり、衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置かないでください。
- 紛失防止のためにリモコンホルダー（リモコン付属）を壁に固定し、使用後はホルダーにしまってください。

ワイヤレスリモコンの乾電池が切れたり、ワイヤレスリモコンが故障したときには、室内ユニットの受光部付近の応急運転ボタンを使って応急運転ができます。

運転を開始したいとき

- 冷房運転…… ボタンを押す。
- 暖房運転…… ボタンを押す。

※2秒以上ボタンを押し続けてください。
運転表示ランプの点灯で運転開始をお知らせします。



(図示例：PL-ZRP・HA3形、PL-HRP・HA3形、PL-ERP・HA3形の場合)

※応急運転時の運転内容は下記になります。

運転モード	冷房	暖房
設定温度	24℃	24℃
風速	強	強
上下風向	設定1	設定5

運転を停止したいとき

-  ボタン又は ボタンどちらかを押す。

ムーブアイセンサーパネル機種の場合の各種設定方法を表示します。

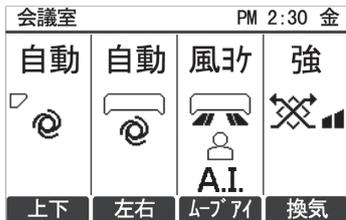
人感風向カンタン設定のしかた

ムーブアイセンサーパネル機種(PL-ZRP-HA3形、PL-HRP-HA3形、PL-RP-GA6形、PM-(H)RP-FA20形^{*1})の場合、人感風向設定「風アテ」「風ヨケ」「ムラ無」「OFF」「AI自動(自動)」「風あてよけ自動(アテヨケ)」^{*2}を設定できます。

^{*1} 本機種を同時ツイン・トリプル・フォーの構成とした場合、全ての室内ユニットが設定対象になります。

^{*2} 「風アテ」「風ヨケ」「ムラ無」「AI自動」「風あてよけ自動」の機能の詳細は10,23,24ページを参照してください。

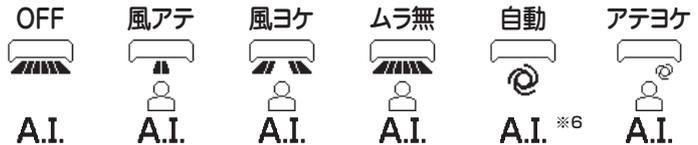
1 操作メニューで「風向・ムーブアイ・換気操作」を選択し、**決定** ボタンを押します。



2 **F3** ボタンを押すごとに



の順に切り換わります。



^{*3} 「OFF」以外を選択すると、風向設定は上下、左右共に「自動」が設定されます。

^{*4} 「OFF」を選択すると、10ページにある「風向を変えたいとき」の「標準パネル」と同じ風向になります。

^{*5} PM-(H)RP-FA20形で「ムラ無」を設定すると「OFF」と同じ風向になります。

^{*6} PM-(H)RP-FA20形の場合、「自動」とA.I.の文字は表示されません。

^{*7} PL-ZRP-HA3形、PL-HRP-HA3形かつ左右ルーバーユニットが接続されている場合のみ、「アテヨケ」が表示されます。

お知らせ

● 次のようなときには、人感ムーブアイが人を検知しにくい場合があります、その際は人がいてもベーンが反応しないことがあります。

- ・ 真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が小さいとき
- ・ 厚着をして肌が表れていないとき
- ・ 間に棚などの障害物があるとき
- ・ 検知範囲内にいないとき
- ・ 温度変化の大きい発熱体があるとき

● 「風ヨケ」でも風があたる場合や、「風アテ」でも風があたらな場合があります。

● 「風ヨケ」設定した場合、吹き出した空気により天井が汚れる場合があります。

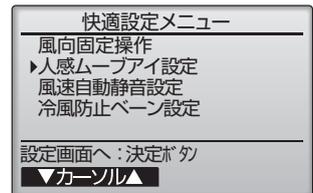
人感ムーブアイ設定画面への移動方法

1 メインメニュー画面で「操作」を選択し **決定** ボタンを押します。

2 操作メニュー画面で「快適設定」を選択し **決定** ボタンを押します。

3 **F1**、**F2** ボタンで、「人感ムーブアイ設定」を選択し、**決定** ボタンを押します。

快適設定メニュー



お知らせ

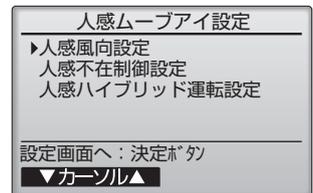
● 接続室外ユニットが ZR シリーズ、ズバ暖シリーズ以外の場合は、ムーブアイセンサーパネルを取り付けていても設定できません。

ムーブアイセンサーパネル取付時のムーブアイ機能

		室内ユニット				
		PL-ZRP-HA3	PL-HRP-HA3	PL-ERP-HA3	PL-RP-GA6	PM-(H)RP-FA20
室外 ユニット	ZR シリーズ	人感ムーブアイ	-	-	人感ムーブアイ	人感ムーブアイ (ムラなしモード) 設定不可
	ズバ暖 シリーズ	人感ムーブアイ	人感ムーブアイ	-	人感ムーブアイ	人感ムーブアイ (ムラなしモード) 設定不可
	ER/CR シリーズ	-	-	ムーブアイ (ムラなしモードあり)	-	ムーブアイ

^{*1} 各機能の詳細は23ページを参照してください。

人感ムーブアイ設定



4 **F1**、**F2** ボタンで設定する項目を選択し、**決定** ボタンを押します。

■ 人感風向設定(詳細設定)

風向制御方法を選択します。

省エネ自動モード／快適自動モード／ムラなしモード(出荷時設定：省エネ自動モード)

■ 人感不在制御設定

人感ムーブアイが検知した人数に応じて、省エネ運転をします。

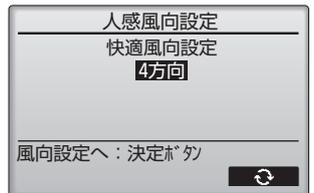
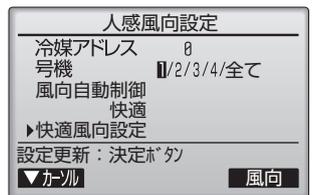
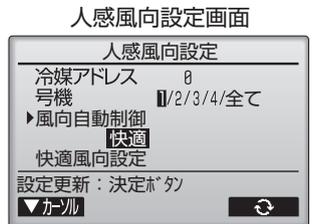
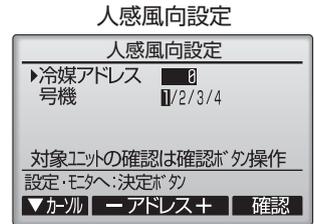
不在省エネモード／在室率省エネモード／不在停止モード(出荷時設定：全て OFF)

■ 人感ハイブリッド運転

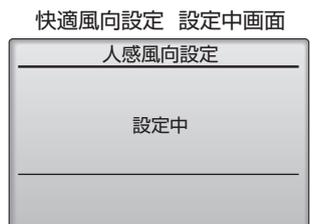
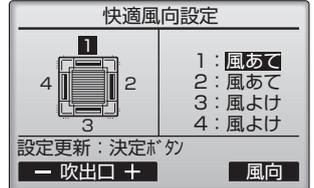
人感ハイブリッド運転の設定をします。(出荷時設定：OFF)

人感風向設定のしかた(詳細設定)

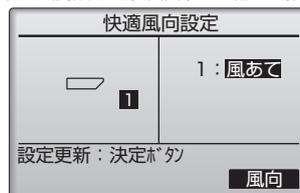
- 1** **F1** ボタンで「冷媒アドレス」・「号機」を選択します。
- 2** **F2**、**F3** ボタンで人感風向制御を設定するユニットの冷媒アドレスと号機を設定し、**決定** ボタンを押します。
- 3** **F1** ボタンで「冷媒アドレス」・「号機」・「風向自動制御」を選択します。
- 4** **F2**、**F3** ボタンで人感自動制御を設定する冷媒アドレスと号機、**F4** ボタンで風向自動制御を設定し **決定** ボタンを押します。
各設定は下記モードに対応します。詳細は 23 ページを参照してください。
省エネ：省エネ自動モード
ムラ無：ムラなしモード
快 適：快適自動モード(風あて、風よけ)
- 5** 快適自動モードを設定する場合は、「快適風向設定」を選択し、**F4** ボタンで風向選択画面に切り換えます。
- 6** 風向選択画面で快適風向設定機種を選択し **決定** ボタンを押します。
・4方向……4方向天井カセット形
・その他……1方向天井カセット形
- 7** **F1**、**F2** ボタンで吹出口を選択してから、**F4** ボタンで風向を設定し、**決定** ボタンを押します。
決定 ボタンを押すと、画面に「設定中」と表示されます。
設定終了後、元の画面に戻ります。



快適風向設定 選択画面(“4方向”の場合)



快適風向設定 選択画面(“その他”の場合)



× モ

- 「吹出口」は各吹出口の両端にある四角溝形状(吹出口識別マーク)の数に対応しています。



吹出口識別マーク

お知らせ

- 「ムラなしモード」、「快適自動モード」は風向設定を「自動」に設定する必要があります。
- 次のようなときには、人感ムーブアイが人を検知しにくい場合があります、その際は人がいてもベーンが反応しないことがあります。
 - ・ 真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が小さいとき
 - ・ 厚着をして肌が表れていないとき
 - ・ 検知範囲内にいないとき
 - ・ 間に棚などの障害物があるとき
 - ・ 温度変化の大きい発熱体があるとき
- 「風よけ」でも風があたる場合や、「風あて」でも風があたらない場合があります。
- 「風よけ」設定した場合、吹き出した空気により天井が汚れる場合があります。

お知らせ

- 人感風向設定は、MAスマートリモコンの「人感風向カンタン設定」「人感風向設定（詳細設定）」と、ワイヤレスリモコン（PAR-SC4UA）からの設定が可能です。

上記複数の方法で設定した場合は、ワイヤレスリモコンからの設定、「人感風向設定（詳細設定）」、「人感風向カンタン設定」という優先順で設定が反映されます。

人感不在制御設定のしかた

人感ムーブアイが検知した人数に応じて、省エネ運転をします。詳細は 23 ページを参照してください。

不在制御（不在省エネモード）
在室率制御（在室率省エネモード）
不在停止

1 **F1**、**F2** ボタンで人感不在制御設定を選択し、**決定** ボタンを押します。

2 **F1**、**F2** ボタンで「不在制御」又は「在室率制御」又は「不在停止」を選択します。

不在制御・在室率制御

F4 ボタンで OFF / 冷房 / 暖房 / 冷暖を設定し、**決定** ボタンを押します。

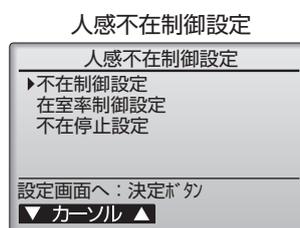
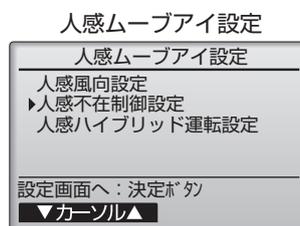
各設定は下記モードに対応します。

OFF：省エネ制御無効

冷房：冷房時のみ省エネ制御有効

暖房：暖房時のみ省エネ制御有効

冷暖：冷房 / 暖房時に省エネ制御有効



お知らせ

- 上記制御において能力セーブ中の間も、リモコンの設定温度は変更されません。

不在停止

F2、**F3** ボタンで人を検知しなくなってから停止するまでの時間を設定します。

停止時間は 60 分～180 分まで 10 分単位で設定可能です。

「--」を選択した場合は不在停止しません。

本機能により停止した場合は、リモコンに「不在により停止しました」と表示されます。

※下記の場合は不在停止しません。

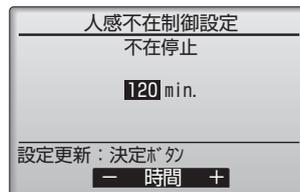
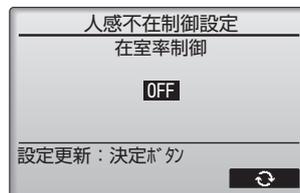
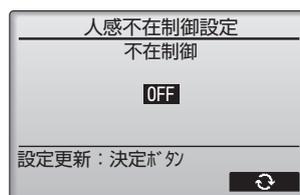
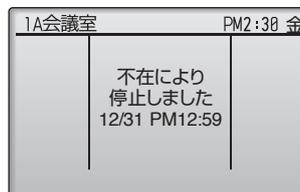
・運転・停止操作が集中管理中の場合（MA スマートリモコンに が表示されている場合）

※下記の場合は本機能は無効となります。

・グループ制御時

・不在停止機能がない室内ユニットとフリーコンポマルチ接続されている場合

※MA スマートリモコンの操作ロックが有効に設定されている場合でも不在停止は有効です。



お願い

- 人感ムーブアイは人を検知できない場合もありますので、対物・対動植物など誤検知により停止して困る場所では使用しないでください。

お知らせ

- 次のようなときは、人感ムーブアイが不在を検知しにくい場合があります、不在停止しないことがあります。

・真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が小さいとき

・温度変化の大きい発熱体があるとき

- 次のようなときは、人感ムーブアイが人を検知しにくい場合があります、人がいても不在停止することがあります。

・真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が小さいとき

・厚着をして肌が表れていないとき ・検知範囲内にいないとき

・間に棚などの障害物があるとき ・温度変化の大きい発熱体があるとき

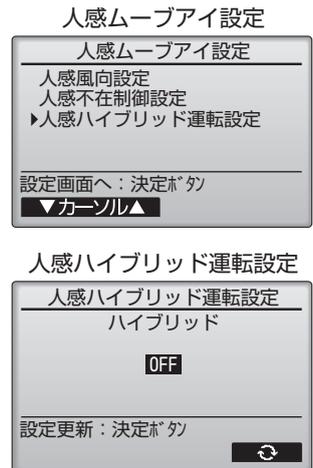
・人の移動がなく一定の場所にとどまっているとき

● 運転のしかた 人感ムーブアイ設定のしかた(スリムZR・ズバ暖スリムの場合)

人感ハイブリッド運転設定のしかた

人感ハイブリッド運転が有効の場合、以下の運転をします。

- ・冷房モードで室温が設定温度より低いとき
送風運転を行いながら、上下ベーンをスイングします。風速は設定された風速です。
 - ・暖房モードで室温が設定温度より高いとき
送風運転を行いながら、上下ベーンを水平吹きにします。風速は弱です。
- ※本機能を使用する場合、リモコンの機能選択による設定変更が必要です。
 リモコンに付属の説明書に従い、機能選択モード番号27の設定番号を1にしてください。
 ※加湿器ありの設定の場合、暖房のハイブリッド運転を行いません。
 ※暖房時には、空気の流れを天井に這わせるようにするため、天井が汚れる可能性があります。



1 **F1**、**F2** ボタンで人感ハイブリッド運転設定を選択し、**決定** ボタンを押します。

2 **F4** ボタンで OFF / 冷房 / 暖房 / 冷暖を設定し、**決定** ボタンを押します。

- 各設定は下記モードに対応します。
- OFF：人感ハイブリッド運転無効
 - 冷房：冷房時のみ人感ハイブリッド運転有効
 - 暖房：暖房時のみ人感ハイブリッド運転有効
 - 冷暖：冷房 / 暖房時に人感ハイブリッド運転有効

お知らせ

- 人感ハイブリッド運転は、風向自動モードに設定する必要があります。(9 ページ)
 - 次のようなときは、人感ムーブアイが人を検知しにくい場合があります、その際は人がいても人感ハイブリッド運転にならないことがあります。
 - ・真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が小さいとき
 - ・厚着をして肌が表れていないとき
 - ・検知範囲内にいないとき
 - ・間に棚などの障害物があるとき
 - ・温度変化の大きい発熱体があるとき
 - 人感ハイブリッド運転が有効の場合、4つのベーンは同じ動作をします。(4方向天井カセット形の場合)
 - 冷房で風当たりが気になる場合は、各吹出口ごとに以下のいずれかの設定をしてください。
 - ・人感風向設定 快適自動モード(風よけ設定)
 - ・上下風向角度の固定設定
- ※ムーブアイ位置設定が正しく行われていないと上記は異なるベーンに設定されます。
 正しく動作しない場合は、化粧パネルの据付工事説明書(付属書)を参照し、機能選択モード 12 を確認してください。

● 運転のしかた もっと知りたいとき

暖房運転について

- 暖房開始時に風が弱い：吹出空気が一定の温度に達するまでは、吹出空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切り換わります。その間ワイヤードリモコンには“暖房準備中”と表示されます。(ワイヤレスリモコンの場合は受光部付近にある表示灯が点灯します。)
- 風速が設定どおりにならない：室温が設定温度となると、風速は微風となります。
- 風が出ない：ワイヤードリモコンに“暖房霜取中”表示中は風を出しません。(ワイヤレスリモコンの場合は受光部付近にある表示灯(橙)が点灯します。)
- 運転を停止しても風が出る：運転停止後最大約1分間室内ユニット内の余熱を排出するために室内ファンがまわることがあります。

ウェーブ気流(暖房時)とは

- 各風向ベーンが時間差で順次、水平から下吹き又は下吹きから水平へ動き、室内の空気を攪拌し、室温のムラを抑えます。
- ※PL-ZRP・HA3形、PL-HRP・HA3形、PL-ERP・HA3形、PL-RP・GA6形の場合

ミスタースリムの使用温度範囲

		室内 ^{※2}	天井内 ^{※1}	室外 ^{※2}
冷房・ドライ	乾球温度	19℃～32℃	～30℃	-5℃～52℃
	湿球温度	15℃～23℃	～RH80%	—
暖房	乾球温度	17℃～28℃	—	-20℃～21℃
	湿球温度	—	—	-20℃～15℃

※1 天吊形などの露出タイプは除く。
 ※2 室外ユニットにより表と異なることがあります。
 各室外ユニットの使用温度範囲は
 カタログ・仕様書などでご確認ください。

人感ムーブアイ設定のしかた(スリムZR・ズバ暖スリムの場合) もっと知りたいとき

霜取運転とは

- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行います。霜取運転中には、リモコンに「暖房霜取中」を表示します。霜取運転は約10分程度（最大15分）で終わります。
- 霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。またこの間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

運転停止後の霜取りについて

- 暖房運転停止後、霜取運転を行います。運転停止後に霜を溶かすことで、次回起動時の立ち上がり時間が早くなります。
※リモコンに暖房霜取中の表示はされません。

ムーブアイとは

- 人感ムーブアイ(スリムZR・ズバ暖スリムシリーズ 対象機種:PL-ZRP・HA3形、PL-HRP・HA3形、PL-RP・GA6形、PM-(H)RP・FA20形)

①省エネ自動モード

「人感ムーブアイ」が人の位置を検知すると、人のいるエリアを中心に体感温度制御を行い、人に快適でムダのない運転を行います。

②快適自動モード

「人感ムーブアイ」が人の位置を検知すると、人のいるエリアの風向を設定に応じて自動的に調整します。「風よけ」「風あて」を全吹出口へのカンタン設定（一括）と、吹出口ごとに詳細設定（個別）でき、一人一人に快適な風を届けます。風向自動モードに設定する必要があります。

※1「風よけ」でも風があたる場合や、「風あて」でも風があたらない場合があります。

※2「風よけ」設定した場合、吹き出した空気により天井が汚れる場合があります。

③ムラなしモード

床面の暑いエリア、寒いエリアを見つけ出し、風向を自動調整します。窓側や壁側など、エリアごとの温度ムラを解消します。

※3 PM-(H)RP・FA20形の場合、ムラなしモードは設定できません。

※4 PL-ZRP・HA3形、PL-HRP・HA3形、PL-RP・GA6形のリモコンを主リモコンとしたときのみ設定できます。

④在人率省エネモード

「人感ムーブアイ」が検知した室内にいる現在の人数と過去の最大人数から在室率を算出し、在室率に応じて、最大1℃分の能力をセーブした省エネ運転をします。

⑤不在省エネモード

60分以上室内にいない場合、空調運転を自動的に2℃分の能力をセーブした省エネ運転をします。人が戻れば通常の運転に戻ります。

⑥不在停止モード

あらかじめ設定した時間以上室内に人がいない場合、自動的に運転を停止します。

※人感ムーブアイの検知範囲について

検知範囲

	4方向天井カセット形	1方向天井カセット形
床の温度 (天井高さ2.7mの場合)	直径12m	8.3m
人の検知 (床面からの高さ1.1mの場合)	直径7.2m	5m

※次のようなときには人を検知しにくくなる場合があります。

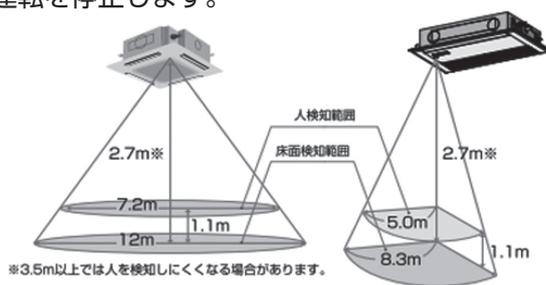
- ・ 真夏など、室内の床・壁温度が高く、人体との温度差が小さいとき
- ・ 厚着をして肌が表れていないとき
- ・ 間に棚などの障害物があるとき
- ・ 検知範囲内にいないとき
- ・ 温度変化の大きい発熱体があるとき

ムーブアイ

- ・ スリムERシリーズ 対象機種：PL-ERP・HA3形
人感ムーブアイのムラなしモードと同様の運転を行います。風向自動モードに設定する必要があります。
- ・ スリムERシリーズ 対象機種：PM-(H)RP・FA20形
- ・ スリムZR・ER・ズバ暖シリーズ 対象機種：PC-RP・KA(L)20形
床温をムーブアイで測ることで体感温度制御を行い、人に快適でムダのない運転を行います。

パワーシェア運転とは

- この機能有効時は各冷媒系統が協調して運転することで全体の電力が最少になるように圧縮機を制御します。2～4冷媒系統が1グループの場合に設定できます。5冷媒系統以上が接続される場合は設定できません。設定方法はMAスマートリモコン取扱説明書をご覧ください。



スマートデフロスト運転とは

- 各冷媒系統が同時に霜取運転にならないように協調します。ただし、条件によっては同時に霜取運転する場合があります。2～4冷媒系統が1グループの場合に働きます。5冷媒系統以上が接続される場合は働きません。

ドラフトセーブとは

- リモコンで設定した風向ベーンを上下風向設定1よりも水平な角度にして、その方向への風が人にあたらないようにします。この機能が設定できるのは1つの風向ベーンについてのみです。また、2・3方向吹出設定がされている場合は、本機能は使用できません。
- 高湿度環境下（事務所環境以外）では本機能を使用すると露つき、露たれすることがあります。
- 別売部品の直付方式加湿器や分ダクトを組み込んでいる場合や、外気取入れを行っている場合は、本機能は使用しないでください。
- 吹き出した空気により天井が汚れる場合があります。

暖房プレヒートとは

- 霜取運転中の室内温度低下を抑えるため、霜取運転を行う直前に強めの暖房を行い、室温を上げる運転を行います。
- 外気温度、霜のつき具合、霜取直前の運転状態によっては効果を得られない場合があります。

センシングドライとは

*PL-ZRP-HA3とスリムZR室外ユニットの組合せにて有効

- 吸込空気の温度と湿度により圧縮機のON/OFF周期と室内ファンを自動で制御します。
- 圧縮機は、高温高湿時は連続運転、低温高湿/高温低湿時は断続運転、低温低湿時は停止します。
- 室内ファンは、高温/高湿時に風量が大きく、低温/低湿時に風量が小さくなるように自動で制御します。

消費電力表示について

- 運転中に消費した電力量、又はCO₂排出量をMAスマートリモコンに表示することができます。詳細はMAスマートリモコンの取扱説明書をご覧ください。

先読み運転とは

- 先読み運転は、スリムZR/ズバ暖スリム室外ユニットの機能です。
- 室内ユニットがPL-ZRP・HA3、PL-HRP・HA3、PL-RP・GA6、PM-(H)RP・FA20で、かつムーブアイセンサーパネル接続時はムーブアイmirA.I.として機能します。
 - *PL-ZRP-HA3、PL-HRP-HA3、PL-RP-GA6、PM-(H)RP-FA20以外の室内ユニットや、PL-ZRP-HA3、PL-HRP-HA3、PL-RP-GA6、PM-(H)RP-FA20でムーブアイセンサーパネル接続ではない場合は、運転データから推定した空調負荷と、外気温・室温から簡易的に建物性能*を学習し、先読み運転を行います。
 - *開放空間など安定運転できない環境では学習ができず、先読み運転できない場合があります。
 - *機器に異常がある場合など、正常な運転ができない場合は先読み運転できません。
 - *送風、ドライ運転の場合は先読み運転できません。
 - ※室温に影響する性能(断熱性、気密性、広さを総合的に判断)を指します。

ムーブアイmirA.I.とは

- A.I.*¹が運転データから推定した空調負荷と、外気温・室温・輻射温度から建物性能*²と輻射温度の影響を分析・学習し、少し先の体感温度変化を予測。予測結果をもとに運転の強さを自動でコントロールする先読み運転を行います。
 - ※¹ 建物性能・輻射温度の影響に基づく体感温度変化を予測する技術を「AI」と定義しています。
 - ※² 室温に影響する性能(断熱性、気密性、広さを総合的に判断)を指します。

AI自動とは

- スリムZR/ズバ暖スリム室外ユニットとPL-ZRP・HA3、PL-HRP・HA3、PL-RP・GA6の組合せ、かつムーブアイセンサーパネル接続時にAI自動モードを選択できます。温度ムラがあるときはエリアごとの温度ムラを解消し、温度ムラがないときは人のいるエリアを中心に体感温度制御を行うことで、ムラのない効率的な運転を行います。
- 画面上では「自動」と表示されます。
 - *AI自動モードは冷房/暖房の自動切り換えを含みません。冷房/暖房の切り換えを自動で行いたい場合は運転モードを自動にしてください。
 - *機能選択でムーブアイmirA.I.を無効にした場合、本機能も無効となります。

風あてよけ自動とは

- PL-ZRP・HA3、PL-HRP・HA3かつムーブアイセンサーパネルと左右ルーバーユニットとの接続時に風あてよけ自動モードを選択できます。人の温冷感*¹を推定して風向を自動で変化*²させます。
- 画面上では「アテヨケ」と表示されます。
 - ※¹ 当社独自の指標で暑い寒いという温度の感じ方を見分けます。体質を見分けるわけではありません。
 - ※² 風向によっては、吹き出した空気により天井が汚れる場合があります。

ダクト用換気扇連携とは

- 当社CO₂センサー搭載ダクト用換気扇「機器連携タイプ」と接続することで室温低下抑制運転とリモコン表示をすることができます。
- 機能選択でモード番号51の設定番号を2に設定した場合には下記の①、②の両方が行われ、設定番号を3に設定した場合には②のみ行われます。
詳細な接続方法、設定方法は室内ユニットの据付工事説明書とダクト用換気扇の取扱説明書・据付説明書を参照してください。
- ① 室温低下抑制運転
暖房運転中に換気扇の運転が「急速」の場合に、室温の低下を抑制するように運転します。
- ② リモコン表示
換気扇の検知CO₂濃度が設定値を超えたり、手動で運転モードを切り換えたりして換気扇の運転が「急速」になっている場合に、MAスマートリモコン(PAR-44MA以降)に「CO₂ 急速換気中」と表示します。

換気扇連携（換気制御インターフェース連携）とは

- 別売部品「換気制御インターフェース」を使用して当社換気機器と室内ユニットを接続することで、MAスマートリモコンから換気操作が可能になります。
連携可能な換気機器については、換気制御インターフェースの据付工事説明書をご確認ください。
- 室内ユニットと換気機器を連携することで、下記の機能を使用できます。
詳細な接続方法・設定方法は室内ユニットおよび換気制御インターフェースの据付工事説明書を参照してください。
- ① 室温低下抑制運転
機能選択でモード番号51の設定番号を4に設定すると、暖房運転中に換気扇が強風運転している場合に室温の低下を抑制するように運転します。
- ② 外気冷房
機能選択でモード番号36の設定番号を2に設定すると、冷房運転中又は、冷房モードで停止中に室外温度が室内温度より5℃以上低く、かつ室内温度がリモコン設定温度よりも0.5℃以上高い場合に、換気風量を自動的に強風に切り替え、外気により室内温度を下げるように運転します。
※本機能を使用する場合は換気扇を設置している部屋に外気を取り入れる給気口が必要です。
給気口があるか確認してください。外気を取り入れる給気口がないと適切な効果が得られない場合があります。

内部クリーン運転とは

- 冷房運転又はドライ運転の後に、送風による乾燥運転を行います。
- 内部クリーン運転の設定方法については、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。
- 内部クリーン運転中は、風速は微風、上下風向は設定1になります。送風時間は、室内ユニット形態により異なります。
- 下記のように、内部クリーン運転中であることをお知らせします。
 - ・ MAスマートリモコンの場合：画面上に「内部クリーン中」と表示します。
 - ・ ワイヤレスリモコンの場合：受光部付近の表示灯<橙>が約5秒間隔で点滅します。



- 内部クリーン運転の中断のしかたは下記のとおりです。内部クリーン運転の設定は解除されません。
 - ※ 中断した場合はユニット内部が乾燥しません。
 - ・ MAスマートリモコンの場合：F1ボタンを押してください。
 - ・ ワイヤレスリモコンの場合：運転/停止ボタンを一度押し、リモコン画面が表示されたら、もう一度運転/停止ボタンを押してください。
- 内部クリーン運転を実施することで、室内の湿度が上昇する場合があります。

送風時風速自動モードとは

- ヘルスエアー機能搭載クリーンユニットを接続しており、ラトックシステム株式会社製の環境センサーをMAスマートリモコンに接続している場合に、室内のCO₂・PM_{2.5}濃度の値に応じて、送風運転の風速を自動で制御します。CO₂・PM_{2.5}濃度の値が高い場合には、送風運転時の風速を上げてヘルスエアー機能搭載クリーンユニットの能力を高めるように運転を行います。風速自動モードに設定する必要があります。

上手な使い方ー “ミスタースリム” を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

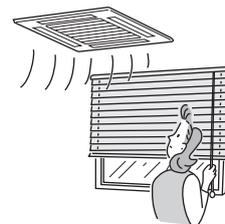
室内温度(室温)は最適に

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。
- たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。



冷房時は熱の侵入を少なく

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド・カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
- 出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。



長時間直接お肌に風をあてない

- 長時間エアコンの風が直接身体にあると体調を悪くしたり、健康障害の原因になることがあります。
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。



フィルターの清掃を

- フィルターが目詰まりすると風の流れが悪くなり、冷房・暖房能力が落ちるため、電力のムダ使いとなります。
- また、露つき・露たれの原因にもなります。
- MAスマートリモコンはフィルタークリーニングサイン付きです。(30,31ページ)



中間期にはドライ運転を

- ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
- ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感ずることがあります。ドライ運転をご利用ください。



室内の温度ムラ解消に風向調節を

- 冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- 暖房時、足元が寒いのは冷たい空気が重く、床の近くに溜まるためです。下吹出しなどにして風向を調節してください。



ときどき換気を

- 長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。
- 冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。



● お手入れのしかた・困ったときに「故障かな?」と思ったら

Q 故障かな? **A** お答えします(故障ではありません)

Q よく冷えない。よく暖まらない。

A

- フィルターの清掃をしてください。(フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです。)
- 温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
- 室外ユニットの周囲空間を広くあけてください。室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていませんか?
- 窓やドアが開いていませんか?
- 圧縮機の予熱中です。外気温度が-20℃より低い条件で電源を入れた場合、最大で12時間運転できない場合があります。(※PUZ-HRMP80~160形・PUZ-DHRMP80~140形の場合)
- 風速自動設定時は、室内温度が設定温度に近づくと静音性を優先し風速を下げます。能力不足や温度ムラを感じた場合は風速を強などに変更してください。

Q 暖房運転にしたとき、すぐに風が出ない。暖房準備中表示が出る。

A ■十分に暖かな風をおとどけするため準備中です。

Q 冷房・ドライ・自動冷房運転中に風が止まる。運転開始時にすぐに風が出ない。

A ■十分に冷たい風をおとどけするための準備です。

Q 暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。

A ■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付き、この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。

Q 風向が途中で変わる、風向が設定どおりにならない。

A

- 冷房運転中、下吹出し(水平吹出し)で使用しますとベーンが自動的に1時間後に水平吹出し(下吹出し)になります。これは水滴が滴下するのを防ぐためです。
- 暖房運転中、吹出温度が低いとき、又は霜取運転中は自動的に水平吹出しになります。
- ムーブアイ使用時、風向自動を設定している場合は、床温度によって風向が変化します。
- 機種によってスイング時のベーン動作範囲が狭い場合があります。

Q 風向を変化させたときベーンが1往復以上しないと指定位置に停止しない。

A ■風向変化時は、基準位置検知動作をしてから所定の角度にベーンが動きます。

Q 水の流れるような音やときどき“プシュ”と音がする。

A ■エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切り換わるときの音です。

Q “ピシッ、ピシッ”という音がする。

A ■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。

Q 部屋がにおう。

A ■エアコンが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、又は衣類などにしみ込んだにおいを吸い込んで、風を吹き出すためです。

Q 室内ユニットより白い霧が出る。

A ■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。■霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。

Q 室外ユニットより水が出る。

A

- 冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴が付き滴下するためです。
- 暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。
- 霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出る場合があります。

Q リモコン表示部に  の表示が出ている。

A ■  の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止の操作が禁止となっています。

Q リモコン表示部に  の表示が出ている。

A ■  の表示が点灯中はリモコンでの運転モードの操作が禁止となっています。

「故障かな?」と思ったら

● お手入れのしかた・困ったときに

Q リモコン表示部に  の表示が出ている。

A ■  の表示が点灯中はリモコンでの設定温度の操作が禁止となっています。

Q 製品のプラスチックが変色している。

A ■ 日光の反射などによる紫外線や温度などの要因によって変色することがあります。製品の使用には問題ありません。

Q 運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

A ■ 入タイマー運転をしていませんか？
運転・停止ボタンを押して停止してください。
■ 遠方コントロールが接続されていませんか？
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■  の表示が点灯していませんか？
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■ 停電自動復帰を設定していませんか？
運転・停止ボタンを押して停止してください。

Q 運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

A ■ 切タイマー運転をしていませんか？
運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
■ 遠方コントロールが接続されていませんか？
停止を指示したところへ連絡・確認してください。
■  の表示が点灯していませんか？
停止を指示したところへ連絡・確認してください。

Q 停止ボタンを押したのに室内ユニット・室外ユニットが動いている。

A ■ 運転停止後の霜取りを行っているためです。霜取運転は約10分程度(最大15分)で終わります。
■ 内部クリーン運転中は停止後も室内ユニットが動きます。

Q リモコンのタイマー運転がセットできない。

A ■ タイマー設定が無効になっていませんか？
タイマー設定がセット可能ときは、、 のいずれかが表示されています。

Q リモコンに“Please Wait”の表示が出る。

A ■ 初期設定(約3分)を行っているためです。

「故障かな？」と思ったら

Q リモコンにエラーコードが表示される。

A ■ 空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
※自分では絶対に修理しないでください。
エアコンの電源を切り、お買上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

Q 再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。

A ■ 約3分間お待ちください。
(エアコンを保護するため、止まっています。)

Q 排水音やモーターの回転音がする。

A ■ 冷房運転停止時に、停止後3~5分間ドレンアップメカを運転してから停止するためです。3~5分間お待ちください。

Q 騒音が仕様値よりも高い。

A ■ 室内の運転音は反響などにより、無響室で測定した仕様値よりも一般的に次に示します値程高くなります(SPL値)。

	一般例	騒音アップ値
吸音効果の高い部屋	放送スタジオ・音楽室など	3~7dB
普通の部屋	応接室・ホテルロビーなど	6~10dB
吸音効果の低い部屋	オフィス・ビジネスホテル	9~13dB

Q ワイヤレスリモコンの表示が出ない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。

A ■ 乾電池が消耗しています。
乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。
※新しい乾電池でも表示が出ない場合は、乾電池の入れ方(+,-)を再度確認してください。

Q ワイヤレスリモコン受光部の運転表示灯(緑)が点滅する。

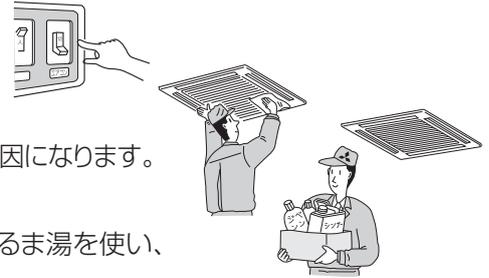
A ■ 空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
※自分では、絶対に修理しないでください。
エアコンの電源を切り、お買上げの販売店に製品名を連絡してください。

Q ドレン水が泡立つ。

A ■ ご使用開始時に熱交換器に含まれる界面活性剤によりドレン水が泡立つことがありますが、ご使用とともに排出されます。

● お手入れのしかた・困ったときに **お手入れのしかた**

お手入れのまえに ■必ず電源を「切」にしてください。



室内ユニット、リモコンの清掃

- やわらかい布でから拭きをしてください。
- 上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押ししたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコン線を引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、リモコンケースはとりはずさないでください。
- お手入れをするときは、台所用中性洗剤を使用量の目安まで溶かしたぬるま湯を使い、そのあと水拭きなどして洗剤を落としてください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

お願い

■室内ユニットを数シーズンご使用になると内部の熱交換器やドレンパンが汚れ、性能低下や水漏れなどの原因になることがあります。内部清掃には専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店にご依頼ください。

フィルターの清掃



注意

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る
運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



電源を切る



注意

フィルターなどの着脱・手動での風向調節のときは不安定な台に乗らない
落下・転倒によるケガの原因になります。



禁止



注意

フィルターなどの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する
目にゴミ・ほこりが入ることがあります。フィルター清掃は専門の業者に依頼してください。



保護具着用

- フィルターをとりはずした状態で運転しないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因になります。
- 長く運転していると、フィルターから油がたれるおそれがありますので、必ずその前にフィルターエレメントの交換及び枠の洗浄をしてください。（PC-RP・HA20形）

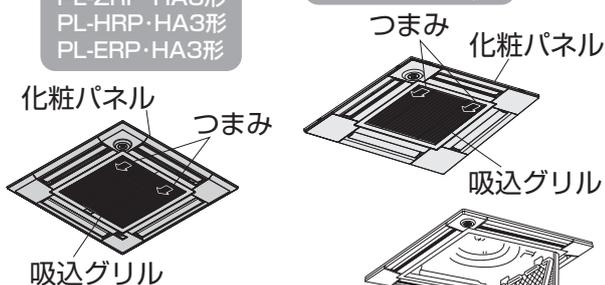
1 フィルターをとりはずす。

PL-ZRP・HA3形 PL-HRP・HA3形
PL-ERP・HA3形 PL-RP・GA6形

- ① 吸込グリルのつまみを矢印の方向へ引くと、吸込グリルが開きます。

PL-ZRP・HA3形
PL-HRP・HA3形
PL-ERP・HA3形

PL-RP・GA6形



- ② つまみ部*を倒し、フィルターを手前に引くと、フィルターがはずれます。

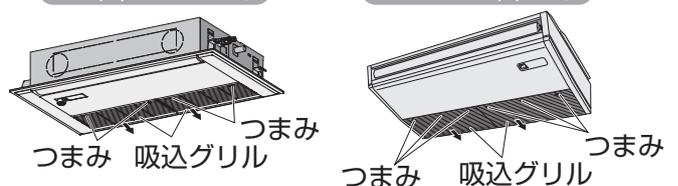
*つまみ部はそれぞれ下記箇所にあります。
PL-ZRP・HA3形、PL-HRP・HA3形、PL-ERP・HA3形：
フィルター端面中央
PL-RP・GA6形：吸込グリル端面中央

PM-(H)RP・FA20形 PC-RP・KA(L)20形

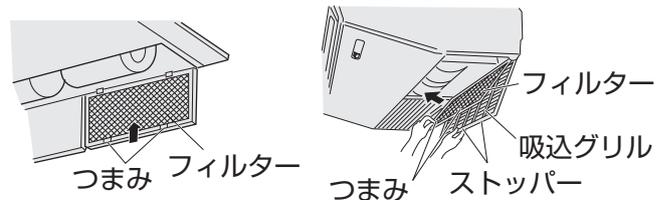
- ① 吸込グリルのつまみを矢印の方向にスライドさせ、吸込グリルを開いてください。

PM-(H)RP・FA20形

PC-RP・KA(L)20形



- ② フィルターのつまみを指でつまんで矢印方向に引き上げてはしないでください。また、フィルター清掃後、フィルターを取り付けるときは、グリルのストッパーにフィルターを確実に押し込んでください。



2 フィルターのほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

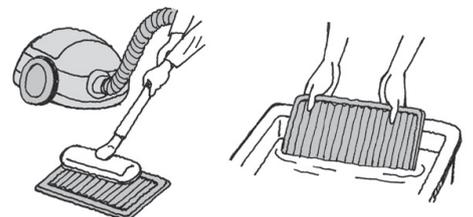
- 汚れがひどいときは、中性洗剤を使用量の目安まで溶かしたぬるま湯ですすいでください。
- 熱い湯（約 50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。

3 水洗いをしたあと、日陰でよく乾かす。

- フィルターは直射日光や直接火にあてて乾かさなでください。

4 フィルターを元どおりに取り付ける。

（とりはずしの逆の手順）



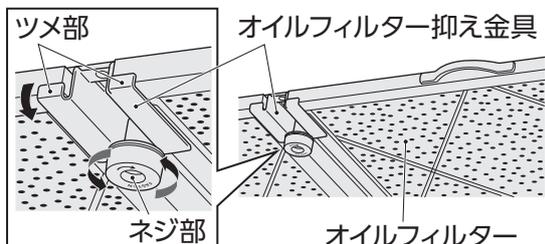
● お手入れのしかた・困ったときに **お手入れのしかた**

オイルフィルターの清掃

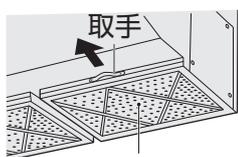
PC-RP・HA20形

1 オイルフィルターのとりはずしかた/取り付けかた

- ① オイルフィルター抑え金具のツメ部がオイルフィルターからはずれるまでネジ部を2箇所緩めてください。



- ② オイルフィルターを矢印の方向にスライドさせてとりはずしてください。



- ③ 本体への取付けは、フィルターエレメント押さえ金具側を必ず下にしてください。

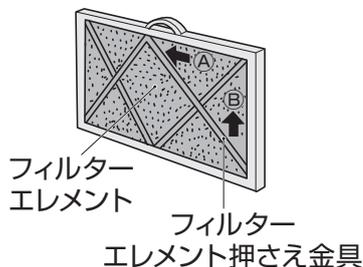
オイルフィルター
80形→3枚
140形→4枚

- ④ オイルフィルター抑え金具のツメ部をオイルフィルターにかけ、ネジ部を締めこんでください。(ネジ部が緩むと異音が発生するおそれがあります)

2 フィルターエレメントの交換のしかた

- ① フィルターエレメント押さえ金具(2本)を次の要領でとりはずしてください。

Ⓐ 側(内側)にたわませてから、Ⓑ の方向にスライドさせて、とりはずしてください。



- ② フィルターエレメント(使い捨て)を交換してください。別売形名：PAC-SG38KF(12枚入)
※フィルターエレメントは枠の内側に確実に収めてください。
- ③ フィルターエレメント押さえ金具を元どおりに取り付けてください。

3 オイルフィルター枠の清掃のしかた

〈用意していただくもの〉

- ゴム手袋などの保護具
- たわし又はブラシ
※金属系のたわし・ブラシはアルミ部材を傷付けたり破損させるおそれがありますので避けてください。
- 家庭用中性洗剤(台所用)
※アルカリ性洗剤で洗浄するとアルミ部分に変色するおそれがあります。

〈オイルフィルター枠の洗浄〉

※フィルターエレメントをとりはずした状態で洗浄してください。

- ① 汚れが少ない場合
■ 上記洗剤を使用量の目安まで溶かし、たわし・ブラシなどで水洗いしてください。(ぬるま湯で洗うと更に効果的です。)
- ② 汚れがひどい場合
■ 50℃以下のお湯に上記洗剤を入れ(10倍程度に薄める)、フィルターを1時間以上浸け置きしてから洗ってください。
※やけどしないようにお湯が冷めてから洗ってください。

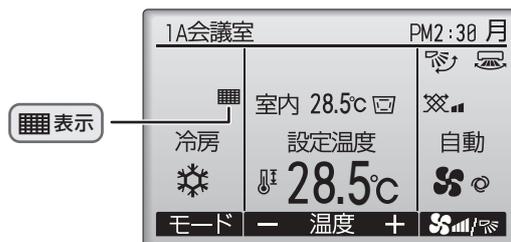


お手入れのしかた

フィルター清掃時期

- ワイヤードリモコンの場合は **■表示** を点灯させて清掃時期をお知らせします。(ワイヤレスリモコンの場合は表示されません。)
- フィルター清掃時期は室内ユニットにより異なります。

室内ユニット	運転時間
PL-ZRP・HA3形	2500時間*1
PL-HRP・HA3形	
PL-ERP・HA3形	
PL-RP・GA6形	2500時間
PM-(H)RP・FA20形	2500時間
PC-RP・KA(L)20形	2500時間
PC-RP・HA20形	100時間*2



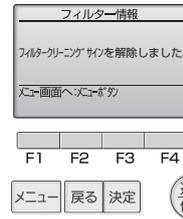
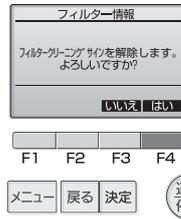
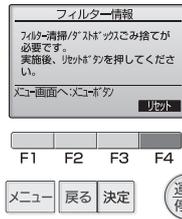
*1 PL-ZRP・HA3形、PL-HRP・HA3形、PL-ERP・HA3形にフィルター自動清掃ユニットを取り付けている場合のフィルター清掃時期は、フィルター自動清掃ユニットの取扱説明書をご覧ください。

*2 PC-RP・HA20形はフィルター点検の目安です。フィルターエレメントの交換時期は環境により異なります。1週間(100時間)ごとに点検し、油滴が滴下する前に、あるいは目詰まりを起こす前に早めに交換してください。(フィルターエレメントは使い捨てです。) オイルフィルター枠が汚れている場合は清掃してください。

● お手入れのしかた・困ったときに お手入れのしかた

表示をリセットする

- 1 『フィルター情報』を表示します。
- 2 **F4** ボタンを押す。
- 3 **F4** ボタンを押す。
- 4 完了画面が表示されます。



- 必ずフィルター清掃を行ってから表示を消してください。表示を消すとユニットの運転時間もリセットされます。
- 2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、接続された室内ユニットのうち1台でもフィルター清掃時期がくれば“フィルター清掃”が表示されます。(ロングライフフィルター:2500時間、一般フィルター:100時間) 表示を消すと全てのユニットの運転時間がリセットされます。
- 運転時間で表示される“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間に表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

● お手入れのしかた・困ったときに 長期間で使用にならないとき

長期間で使用にならないとき

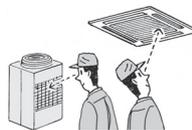
- 1 4~5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。
■不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。
- 2 エアコンの電源を切る。
■電源が入っていると数ワット~数十ワットの電力が消費されます。



再度使い始めるとき

■下記作業 1~4 の点検を行い、異常の無いことを確認後、電源を入れてください。

- 1 フィルターを清掃して、取り付ける。
- 2 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。



- 3 アース線がはずれていないことを確認する。室内ユニットにも取り付けられている場合があります。



- 4 ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



- 5 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。
(電源を入れる場合は、必ず外気温度が-20℃より高い条件で実施ください。)

注意

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

お手入れのしかた
長期間で使用にならないとき

移設・廃棄について



警告



禁止

据付けや移設などの場合は冷凍サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない

- 空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因になり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらすおそれがあります。



警告



禁止

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しない

- 法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生のおそれがあります。
- 封入冷媒の種類は、室外ユニットの据付工事説明書、あるいは銘板に記載されています。
- それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤作動などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

■ 増改築・引越しのためエアコンをとりはずしたり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

■ 据付け・移設・間取り変更などの場合は、据付工事説明書に記載されている「据付場所の選定」を確認してください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要です。必ず専門の回収業者に依頼してください。

据付場所について



警告



設置禁止

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれのある場所へは据え付けない

万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

次の場所への使用は避けてください。

- 可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ（温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場など）
熱交換器（アルミフィン、銅パイプ）などに腐食を起こすおそれがあります。
- 機械油を使用するところ（加工油を用いプレスや切削をする機械工場など）
プラスチック部品の破損、フィルター劣化、送風機や熱交換器の機能低下を生じ製品寿命が著しく低下します。
- 車輛・船舶など移動するものへの設置

次の環境でのご使用の際は、使用を避けるか販売店へご相談ください。

（室内ユニット）

- 食用油を使用するところ（厨房など）
プラスチック部品の破損、フィルター目詰まりで機能低下が生じます。厨房用エアコン又はダクト空調を選定してください。
- 湿気の多いところ
冷房時に結露しやすくなります。
- 高周波を発生する機械（高周波ウェルダ、医療機器、通信機器など）を使用するところ
通信異常やマイコン誤動作のおそれがあります。ノイズ発生源を遮断した上で施工してください。
- 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ（美容室など）
においが熱交換器に付着し、室内ユニットから吹き出すことがあります。

海浜地区・積雪地区における設置に関するご注意

（室外ユニット）

- 海浜地区など塩分の多いところ
使用を避けるか、耐塩害／耐重塩害仕様室外ユニット（受注品）をお求めください。
 - 積雪の多いところ
室外ユニットへの雪の侵入を防ぐため、防雪ダクト、防雪フードを取り付けてください。（別売）
- 室内ユニットは必ず水平に据え付けてください。
水たれの原因になります。

電気工事について



警告



漏電遮断器

漏電遮断器を取り付ける

取り付けていないと、感電の原因になります。



注意



アース線を必ず接続せよ

アース工事を行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び据付工事説明書に従って施工してください。
- 電源は必ずエアコン専用回路にしてください。
他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。
- ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

運転音にも配慮を

- 据付けにあたっては、エアコンの質量に十分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。
- 室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。
- 室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。性能低下や運転音増大の原因になります。

● お手入れのしかた・困ったときに 保証とアフターサービス

- 「修理・取扱い・お手入れ」などのご相談は、お買上げの販売店・施工者・設備業者へお申しつけください。
- お買上げ先へご依頼できない場合は「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」(35ページ参照)へお問い合わせください。
- エアコンに使用されている冷媒は安全です。
冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- ユニット本体の故障もしくは、不具合により発生した付随的損害の保証はいたしません。

保証書

- 室内ユニットに保証書を添付しております。
セットでお買上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
- 内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間中でも有償になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

保証期間…お買上げ日又は据付日又は試運転完了日から起算して1年間です。

補修用性能部品の保有期間

- このパッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

- “「故障かな?」と思ったら”(27,28ページ参照)に従ってお調べください。
なお、不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。
- 保証期間中は
修理に際して、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。
 - 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。修理料金は、技術料+部品代+(出張料)などで構成されています。
 - ご連絡いただきたい内容

1.品名	パッケージエアコン
2.形名・製品番号	室内ユニットは、保証書に記入してあります。 室外ユニットは、室外製品銘板に記入してあります。
3.お買上げ日	〇〇年〇月〇日
4.故障の状況	できるだけ詳しく(リモコンのエラー表示記号なども)
5.ご住所	付近の目印なども
6.お名前・電話番号	

● お手入れのしかた・困ったときに 保証とアフターサービス

保守点検契約のおすすめ

■ エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。においが発生したり、ゴミやほこりなどによりドレンポンプやドレンホースが詰まり、室内ユニットから水漏れ又は、異常停止することがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。

■ 点検と保全周期の目安

【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

● 表1.「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換又は修理]
圧縮機	1年	20,000時間
モーター(ファン・ルーバー・ドレンポンプ用など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ(電磁弁・四方弁など)		20,000時間
センサー(サーミスター・圧力センサーなど)		5年
ドレンパン		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

注3.ご使用環境、ご使用条件によりドレンパンの清掃や抗菌剤投入が必要になる場合があります。

上表は次の使用条件が前提となります。

- ① 頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
(機種により異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- ② 製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年と仮定しています。(氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。)

また、下記の項目に適合するときには、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- ① 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合
- ② 電源変動(電圧・周波数・波形歪みなど)が大きい場所でご使用される場合(許容範囲外での使用はできません。)
- ③ 振動・衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合
- ④ 塵埃・塩分・亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミストなどの特殊環境下でご使用される場合
- ⑤ 頻繁な発停がある場合、運転時間の長い場合(24時間空調など)

■ 消耗部品の交換周期目安

【交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

● 表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期
清潔Vフィルター(フィルターロングライフ仕様)	1年	5年
高性能フィルター		1年
平滑コンデンサー		10年
ヒューズ		10年
加湿エレメント		3年(3750時間)
オイルフィルターエレメント	随時	油がたれる前に交換
ドレンパン抗菌剤(標準搭載機種の場合)	1年	3年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2.この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。

注3.加湿エレメントは交換が必要な消耗部品です。供給水質が市水・上水で硬度70以下の場合、交換の目安は表2の期間です。[交換期間は保証期間を示しているものではありませんので、ご注意ください。]

供給水中の硬度・イオン状シリカ・酸消費量が多い場合、加湿エレメントの劣化が早まり、加湿能力の低下・変色・白粉発生などがあらわれることがあります。

注4.ご使用環境、ご使用条件により抗菌剤の交換周期の短縮を考慮する必要があります。
(対象機種:PL-ZRP-HA3形、PL-HRP-HA3形、PL-ERP-HA3形)

修理窓口・ご相談窓口のご案内 (冷熱品)

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

お買上げ先へご依頼できない場合は

修理のお問い合わせは

その他のお問い合わせは

修理窓口へ

ご相談窓口へ

■お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- 1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的の範囲に製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
- 2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
- 3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
- 4.個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口 電話受付：365日 24時間 (三菱電機ビルソリューションズ株式会社)

●冷熱サービスコールセンター

パソコン・スマートフォン



<https://www.meltec.co.jp/contact/callcenter>

こちらから簡単にアクセスできます。



FAX

東日本

[北海道・東北・関東甲信越・
静岡県東部(富士川以东)]

(03) 3803-5290

西日本

[中部・静岡県西部(富士川以西)・
北陸・関西・中国・四国・九州]

(06) 6391-8545



なやみいくよ
0570-783-194 (有料)

沖縄地区の冷熱サービスコールの連絡先
(098) 866-1175

〈IP電話の場合〉

東日本 (03)3803-1194

西日本 (06)6391-8531

※IP電話回線経由の場合に、ナビダイヤルに接続できないことがあります。
その際は、〈IP電話の場合〉の電話番号におかけください。

修理窓口 電話受付：365日 24時間 (三菱電機システムサービス株式会社)

●三菱電機修理受付センター

パソコン・スマートフォン



www.melsc.co.jp/support/

こちらから簡単にアクセスできます。



携帯電話の場合



TEL 0570-01-8634 (有料)



FAX 0570-03-8634 (有料)



0120-56-8634 (無料)

ご相談窓口 (三菱電機株式会社)

三菱電機空調冷熱ワンコールシステム

家庭用ルームエアコンおよび、店舗・事務所・ビルなどに設置する業務用エアコンに関するお問い合わせは



空調 24時間365日
0120-9-24365 (無料)

365日 24時間 受付

■修理のご依頼

■サービス部品の相談

■技術相談 平日 9:00~19:00
土・日・祝 9:00~17:00

三菱電機冷熱製品に関する技術内容全般についてのご相談〈専用〉

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224 (無料)

〈携帯電話・IP電話の場合〉 **073-427-2224** (有料)

■電話 平日 9:00~19:00
土・日・祝 9:00~17:00

■ファックス 365日・24時間受付 **0037-80-2229** (無料)
〈IP電話の場合〉 **073-428-2229** (有料)

※IP電話回線経由の場合に、フリーボイスに接続できないことがあります。
その際は、「IP電話の場合」の電話番号におかけください。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

Apache License
Version 2.0, January 2004
<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

“License” shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

“Licensor” shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

“Legal Entity” shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, “control” means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

“You” (or “Your”) shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

“Source” form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

“Object” form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

“Work” shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

“Derivative Works” shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

“Contribution” shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, “submitted” means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as “Not a Contribution.”

“Contributor” shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

(a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

(b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

(c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

(d) If the Work includes a “NOTICE” text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions.

Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets “{}” replaced with your own identifying information. (Don’t include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same “printed page” as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright {yyyy} {name of copyright owner}

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the “License”); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

●PL-ZRP・HA3形

形名	40形	45形	50形	56形
騒音(PWL)：強-中-弱-静肃 dB	48-46-45-44			48-47-46-44
風量：強-中-弱-静肃 m ³ /min	17-16-14-11			
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	258×840×840			
質量（本体+パネル） kg	20+4.5			

形名	63形	71形	80形	112形
騒音(PWL)：強-中-弱-静肃 dB	49-48-46-45	51-49-47-46	52-50-48-46	61-57-53-50
風量：強-中-弱-静肃 m ³ /min	19-17-15-11	21-19-16-12	24-22-19-16	36-30-24-20
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	258×840×840		298×840×840	
質量（本体+パネル） kg	20+4.5		24+4.5	26+4.5

形名	140形	160形
騒音(PWL)：強-中-弱-静肃 dB	61-59-55-53	62-59-56-55
風量：強-中-弱-静肃 m ³ /min	38-32-26-22	38-33-28-25
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	298×840×840	
質量（本体+パネル） kg	26+4.5	

●PL-HRP・HA3形

形名	80形
騒音(PWL)：強-中-弱-静肃 dB	52-50-48-46
風量：強-中-弱-静肃 m ³ /min	23-20-17-15
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	298×840×840
質量（本体+パネル） kg	26+4.5

●PL-ERP・HA3形

形名	40形	45形	50形	56形
騒音(PWL)：強-中-弱-静肃 dB	45-44-43-42	46-44-43-42	48-47-46-44	49-48-47-44
風量：強-中-弱-静肃 m ³ /min	16-12-11-10		18-17-16-12	
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	258×840×840			
質量（本体+パネル） kg	20+4.5			

形名	63形	71形	80形	112形
騒音(PWL)：強-中-弱-静肃 dB	49-48-47-46	51-49-48-47	52-51-50-49	59-56-53-51
風量：強-中-弱-静肃 m ³ /min	20-18-16-12	21-19-16-12	23-20-18-16	35-30-24-20
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	258×840×840			298×840×840
質量（本体+パネル） kg	20+4.5			25+4.5

形名	140形	160形
騒音(PWL)：強-中-弱-静肃 dB	62-60-55-53	62-60-57-56
風量：強-中-弱-静肃 m ³ /min	38-31-26-22	38-31-28-25
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	298×840×840	
質量（本体+パネル） kg	25+4.5	

●PL-RP・GA6形

形名	28形	40形	45形	50形
騒音(PWL)：強-中-弱-静肃 dB	50-49-48-47	53-51-49-48		54-53-50-49
風量：強-中-弱-静肃 m ³ /min	8.7-7.8-7.1-6.3	12-9.5-9-8.5		12.5-12-10-9.5
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	298×670×670			
質量（本体+パネル） kg	17+3.6			

形名	56形	63形	71形	80形
騒音(PWL)：強-中-弱-静肃 dB	56-54-50-49	57-55-53-50		58-56-54-53
風量：強-中-弱-静肃 m ³ /min	14-12.5-10-9.5	14.5-13-11.5-10		15-13.5-12-11
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	298×670×670			
質量（本体+パネル） kg	17+3.6			

●PM-(H)RP・FA20形

形名	40形	45形	50形	56形
騒音(PWL)：強-中-弱-静肃 dB	55-52-50-47			55-53-51-50
風量：強-中-弱-静肃 m ³ /min	15-14-12-11			17-16-15-14
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	225×1112×724			
質量（本体+パネル） kg	25+6.5			26+6.5

形名	63形	71形	PR80形	HPR80形
騒音(PWL)：強-中-弱-静肃 dB	56-54-52-50	58-55-53-51		59-55-53-51
風量：強-中-弱-静肃 m ³ /min	19-17-16-14	20-18-16-14		
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	225×1112×724			
質量（本体+パネル） kg	26+6.5			27+6.5

●PC-RP・KA(L)20形

形名	40KA(L)形	45KA(L)形	50KA(L)形	56KA(L)形
騒音(PWL)：強-中-弱-静肃 dB	55-53-50-48			
風量：強-中-弱-静肃 m ³ /min	13-11-10-9		13-12-11-10	
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	230×960×680			
質量 kg	24		25	

形名	63KA(L)形	71KA(L)形	80KA(L)形
騒音(PWL)：強-中-弱-静肃 dB	55-53-51-49	57-55-53-50	
風量：強-中-弱-静肃 m ³ /min	17-15-14-12	20-18-16-13	
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	230×1280×680		
質量 kg	32		

形名	112KA(L)形	140KA(L)形	160KA(L)形
騒音(PWL)：強-中-弱-静肃 dB	62-59-56-54	63-61-58-56	65-62-60-58
風量：強-中-弱-静肃 m ³ /min	29-26-22-20	31-27-24-21	33-28-25-22
外形寸法（高さ×巾×奥行） mm	230×1600×680		
質量 kg	38		

●PC-RP・HA20形

形名	80形	140形
騒音(PWL)：強-弱 dB	57-55	68-61
風量：強-弱 m ³ /min	17-15	38-28
外形寸法（高さ*×巾×奥行） mm	280×1136×650	280×1520×650
質量 kg	42	56

※フィルター寸法で+32mmになります。

MEMO

●フロン見える化



室内ユニット及び室外ユニットに表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることをご認識いただくための表示です。
この製品はフロン排出抑制法の第1種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第1種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。
室内ユニットには、フロン類の種類・GWP(地球温暖化係数)が表示されています。システム全体でのフロン類の数量は、室外ユニットに表示されています。

●「フロン排出抑制法」に基づく冷凍空調機器の点検について

冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、本製品を所有されているお客様ご自身による簡易点検が義務づけられています。目視による外観点検を3か月に1回以上実施し、記録することが定められています。お客様ご自身での点検が難しい場合や、点検で漏えいや異常があった場合は、専門業者による点検をお願いします。

詳細は下記のサイトをご覧ください。

JARAC 一般社団法人 日本空調設備工業連合会 <http://www.jarac.or.jp/>

点検頻度	点検方法	点検項目
3か月に1回以上	お客様(=所有者様)による目視での外観点検	機器からの異常音、機器の外観損傷・摩耗・腐食・さび・油漏れ、熱交換器への霜の付着

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検(保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む)(いずれも有償)をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置したときから廃棄するときまでの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理(管理委託を含む)をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA:社団法人 日本冷凍空調工業会

・JRA GL-14について、<http://www.jraia.or.jp/index.html>

・フロン漏えい点検制度について、<http://www.jarac.or.jp/>

